

アンケート調査結果

障害者手帳所持者用

第2章 アンケート調査結果

1 障害手帳所持者用調査結果

(1・アンケート調査協力者について)

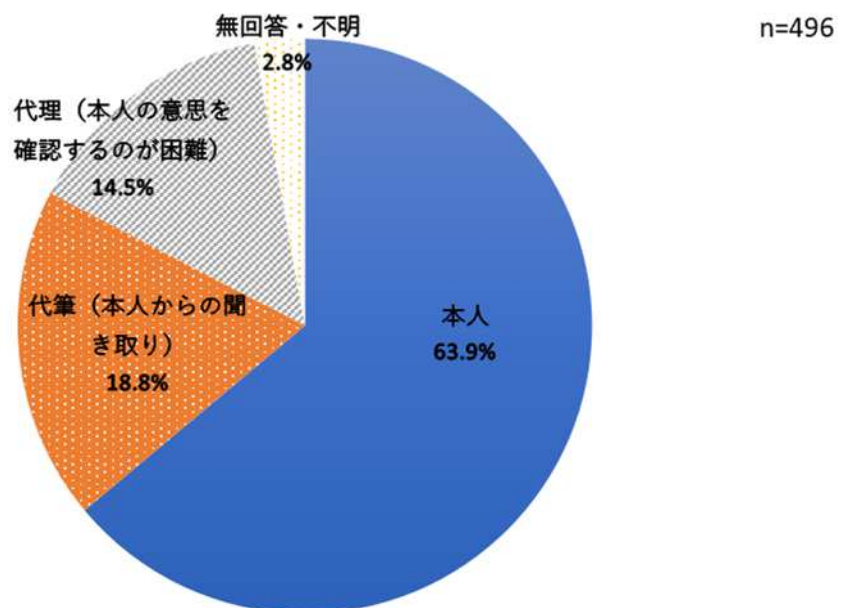
問1 このアンケートはどなたが記入されますか。

(1つだけを○で囲む)

調査の回答者は「本人」が63.9%

アンケート調査の回答者は、「本人」が63.9%、「代筆（本人からの聞き取り）」が18.8%、「代理（本人の意思を確認するのが困難）」が14.5%となっています。

【全体】アンケート調査回答者

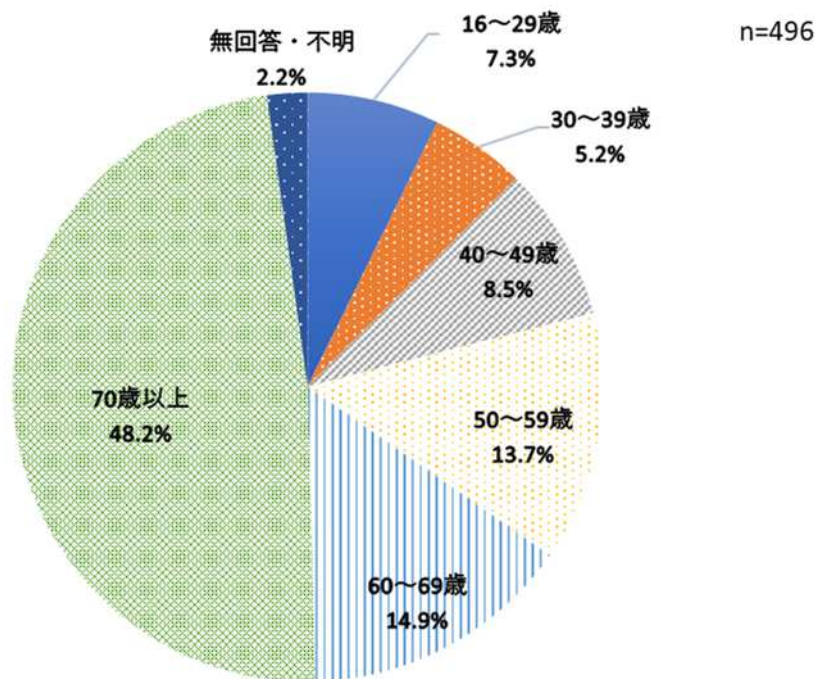


問2 あなたの年代を記入してください。

回答者の年齢は、「70歳以上」が48.2%

アンケート調査の回答者年齢は、「70歳以上」が48.2%で最も多く、次いで60～69歳が14.9%、50～59歳が13.7%、40～49歳が8.5%、16～29歳が7.3%、30～39歳が5.2%となっています。

【全体】回答者年代



(2.障害者に対する意識について)

問3 あなたは、障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支えあって暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。

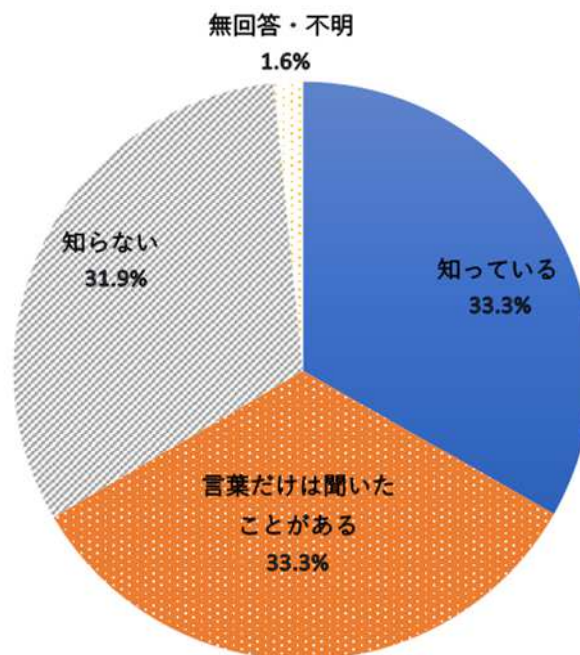
「知っている」と「言葉だけは聞いたことがある」合わせると6割以上

全体では、「共生社会」という考え方を「知っている」「言葉だけは聞いたことがある」と回答した人を合わせると66.6%となっています。

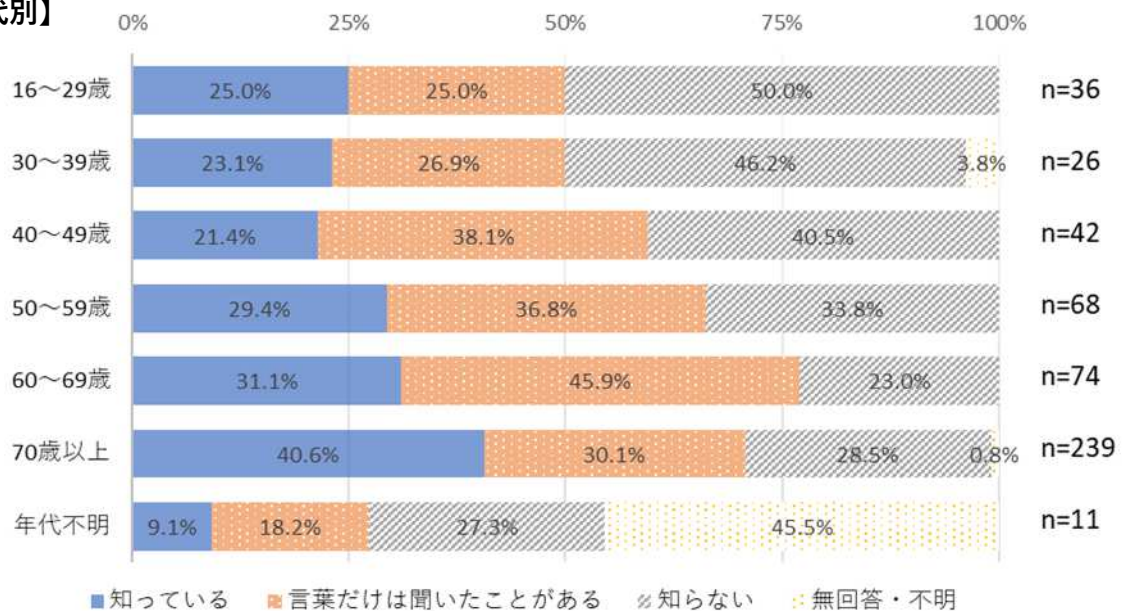
年代別にみると、60代、70歳以上では、7割以上が「知っている」「言葉だけは聞いたことがある」と回答しています。

【全体】「共生社会」を知っているか

n=496



【年代別】



問4 市では「共生社会」の考え方に基づいて、障害のある人もない人も共に生活できるための環境作りを進めています。あなたは、この「障害のある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だ」という考え方について、どう思いますか。

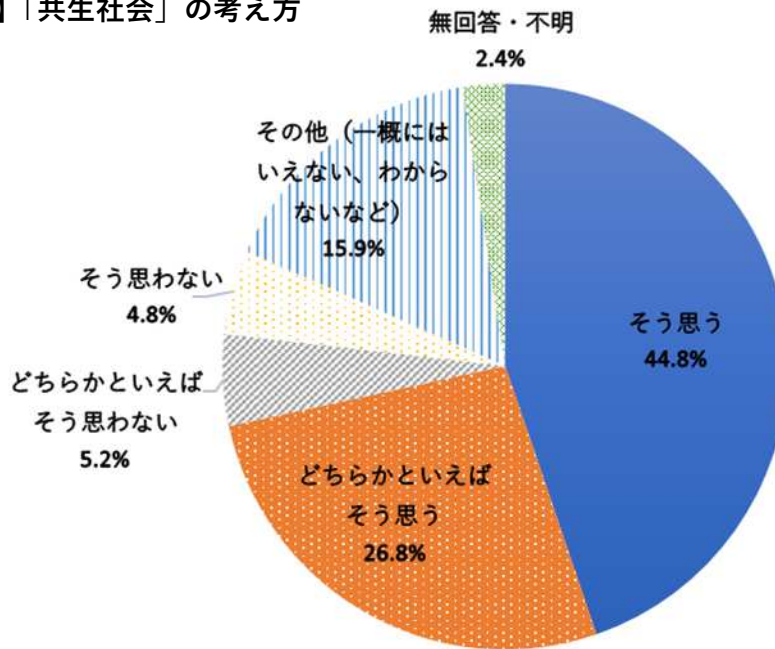
「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」合わせると7割以上

全体では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせると71.6%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせると10.0%となっています。

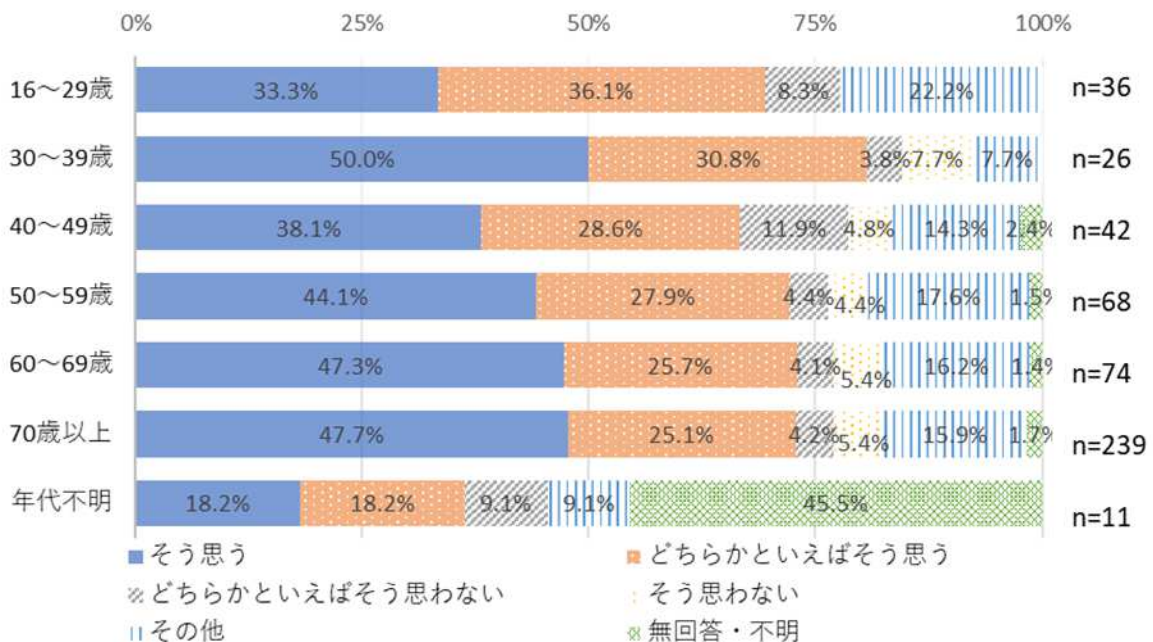
年代別にみると、30代では8割以上が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しています。

【全体】「共生社会」の考え方

n=496



【年代別】

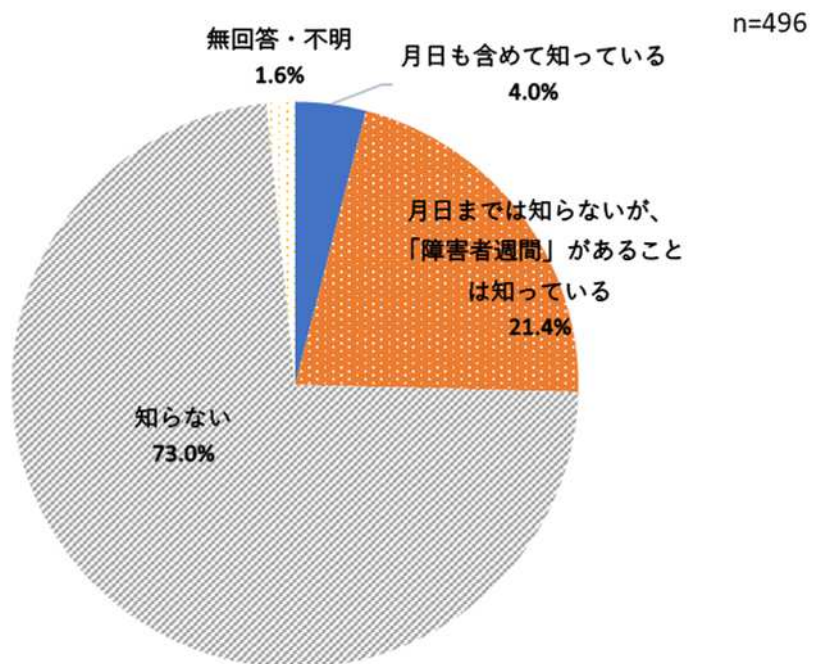


問5 市では、障害や障害のある人に関する理解と関心を深め、障害のある人の社会参加への意欲を高めるために、国が毎年12月3日から12月9日までの1週間を「障害者週間」と定めている中で、さまざまな取り組みを行っています。あなたは、「障害者週間」を知っていますか。

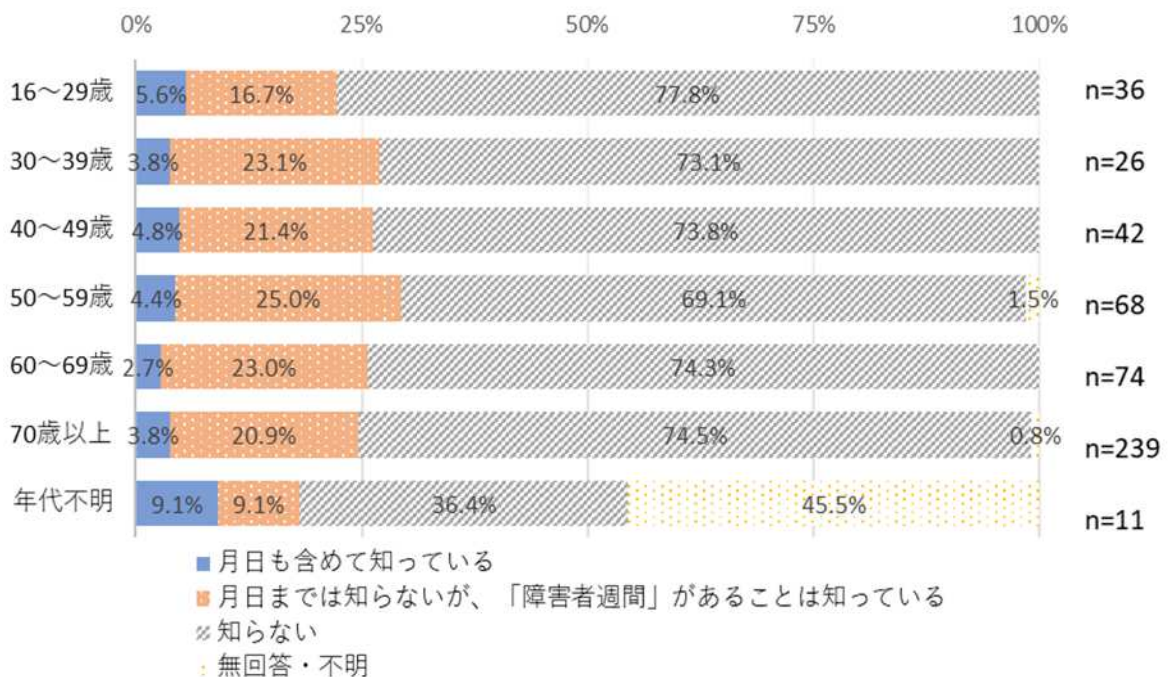
障害者週間を「知らない」が7割以上

「障害者週間」を「知らない」と回答した人が73.0%で最も多くなっています。これに「月日までは知らないが、障害者週間があることは知っている」が21.4%が続いています。

【全体】「障害者週間」を知っているか



【年代別】



問5で「知っている」と答えた方に伺います。

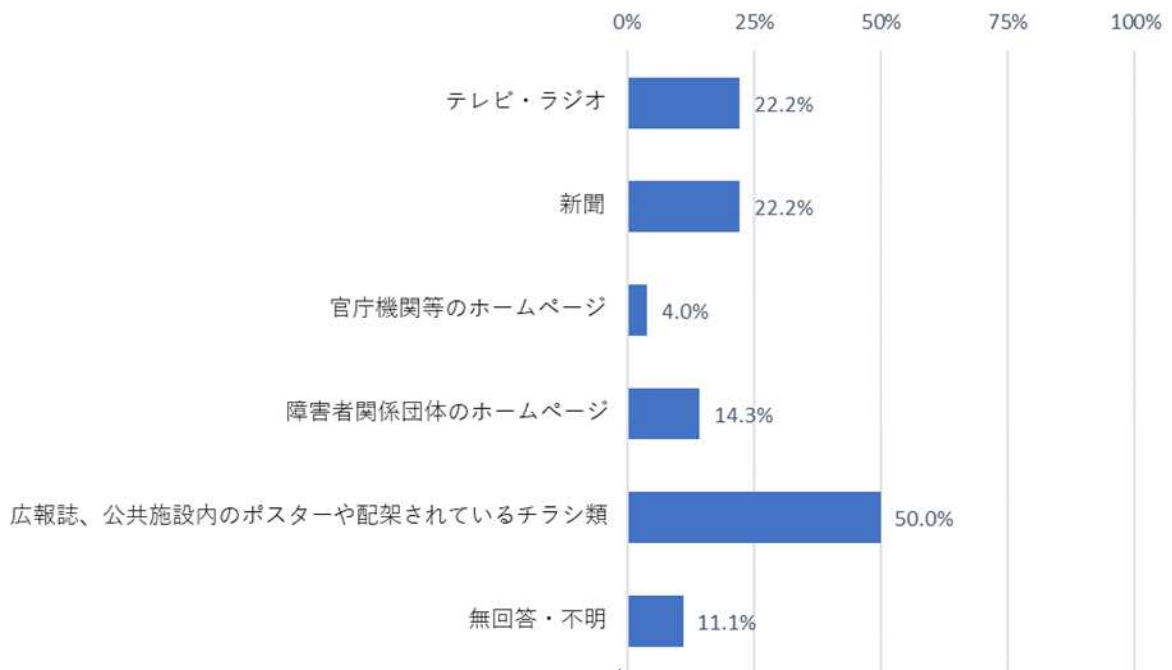
問5-1 それは何によって知りましたか。(あてはまるものすべてを○で囲む)

「広報誌、ポスターやチラシ類」が5割

「障害者週間」を「広報誌、公共施設内のポスターや配架されているチラシ類」で知った人が50.0%で最も多くなっています。これに「テレビ・ラジオ」「新聞」で知った人が22.2%で続いています。

【全体】「障害者週間」を何によって知ったか

n=126



友人・知人から聞いた人、SNSで知った人が含まれている

問6 市では「障害者週間」を中心に障害のある人に対する理解を深めるために、さまざまな行事や催しを行っています。あなたはこのような行事や催しへ参加したことはありますか。

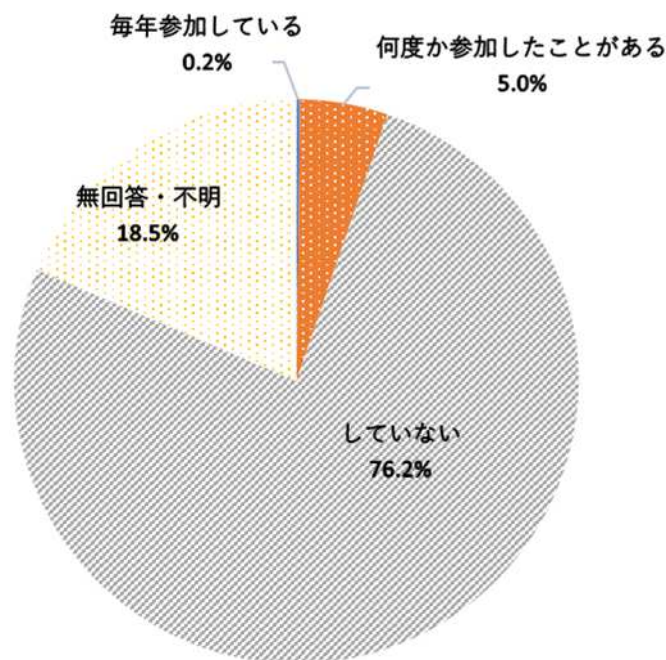
行事や催しに「参加していない」が7割以上

全体では、行事やイベントに「参加していない」人が76.2%で最も多くなっています。70歳以上では、85.4%の人が「参加していない」と回答しています。

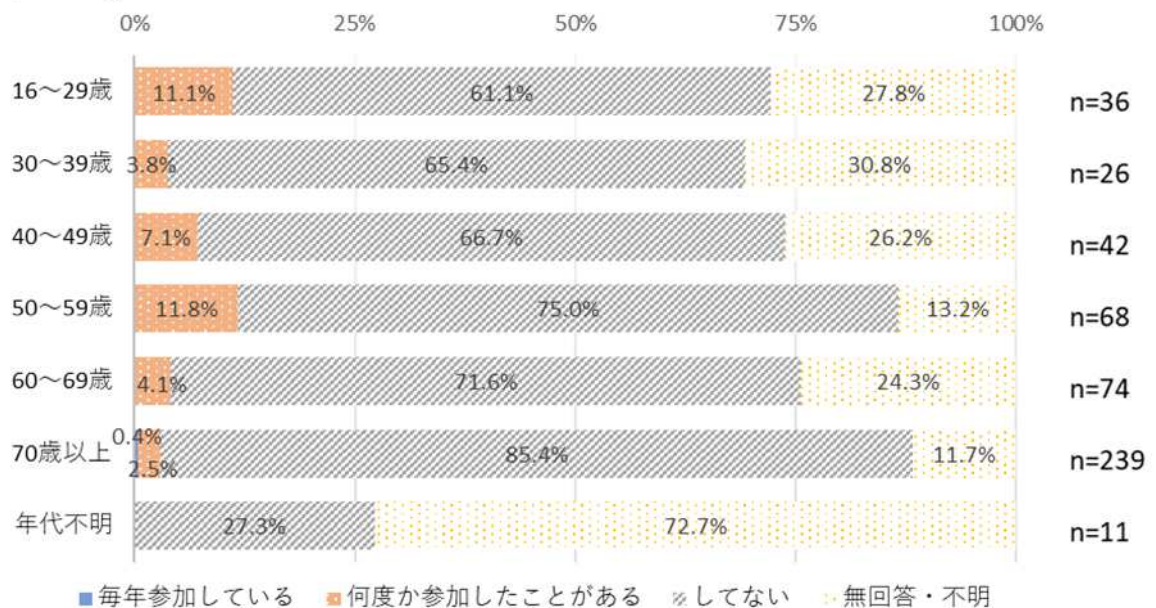
参加していない理由としては、「外出が困難なため（交通手段がない・体が動かない）」「高齢のため」「人と関わるのが苦手だから」「参加したくないから」「行事があることを知らないから」などがあげられています。

【全体】 行事や催しへの参加

n=496



【年代別】



問6で「参加していない」と答えた方に伺います。

問6-1 どのような行事や催しなら参加してみたいと思いますか。

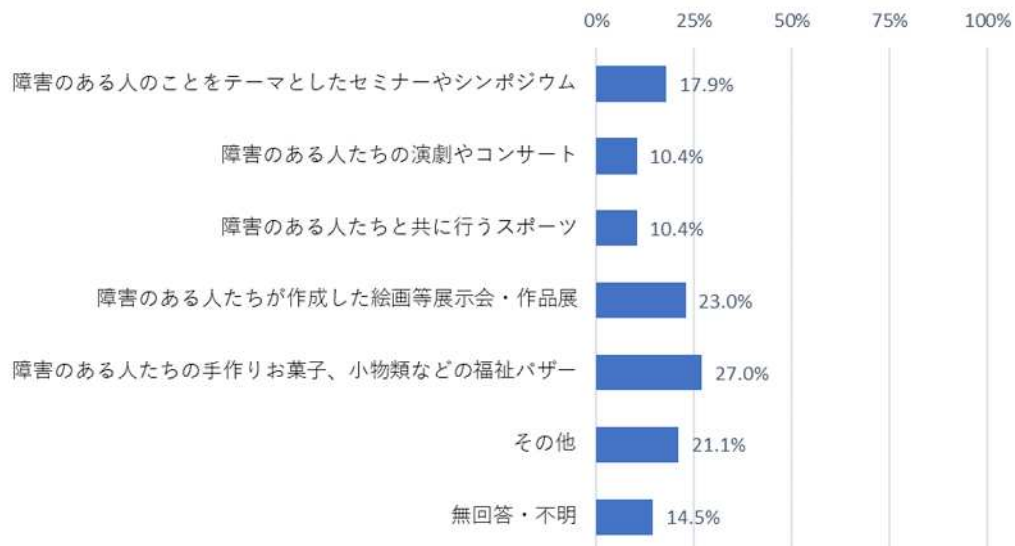
(あてはまるものすべてを○で囲む)

「福祉バザー」27.0%、「展示会・作品展」23.0%

参加してみたい行事や催しは、「障害のある人たちの手作りお菓子、小物類などの福祉バザー」が27.0%で最も多く、これに「障害のある人が作成した絵画等展示会・作品展」が23.0%、「障害のある人のことをテーマとしたセミナーやシンポジウム」が17.9%で続いています。

【全体】参加してみたい行事やイベント

n=470



その他・自由記載より

※ 原文のまま掲載しています。

- ・「共生」にあった内容のもの。
- ・自分と同じ障害のある人と話せる機会があれば参加してみたいと思います。
- ・障害者週間を知らない→内容を周知する方策を立案して下さい。
- ・障害・健常と決めないで一緒にできること。
- ・「障害者の～」という物、イベントに興味がない。
- ・陸上競技、水泳でわかふじ大会に毎年参加している。
- ・障害にこだわらなくていいと思います。
- ・自らの意思、判断が出来ない(最重要度障害のため)。
- ・障害を改善できる機械や研究成果についての催し。
- ・障害のある人ない人で分ける行事こそ障害の壁。
- ・障害ある人たちとの意見交換、交流など。
- ・見る、聴く、買うことが「参加」なら、全て参加してみたいが、開催者側での参加は難しいです。

問7 あなたは、世の中には障害のある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。
(1つだけを○で囲む)

「あると思う」「ある程度あると思う」合わせると7割以上

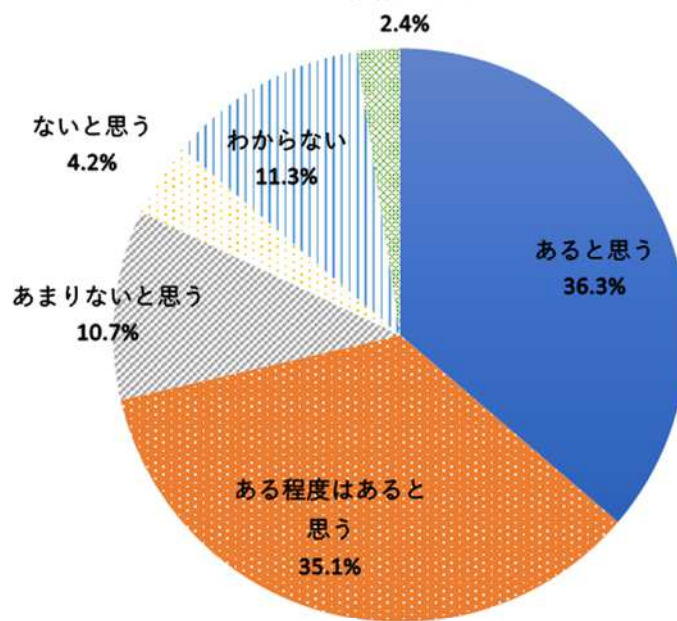
全体では、障害を理由とする差別や偏見が「あると思う」「ある程度あると思う」と回答した人を合わせると71.4%、「ないと思う」「あまりないと思う」を合わせると14.9%となっています。

年代別にみると、30代～50代では8割以上が「あると思う」「ある程度はあると思う」と回答しています。

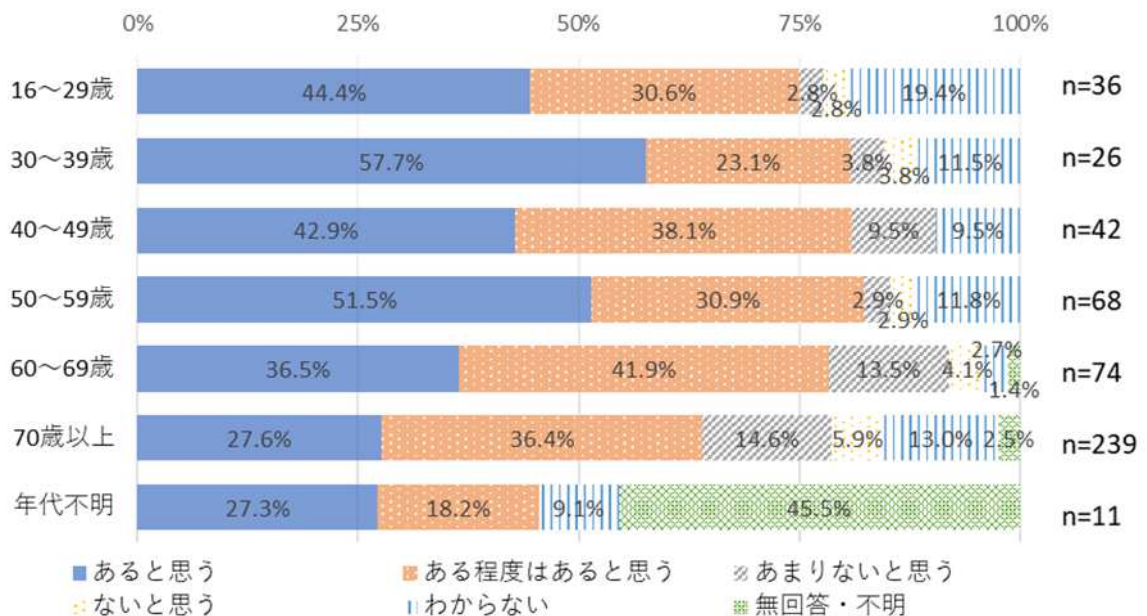
【全体】 差別や偏見があると思うか

無回答・不明

n=496



【年代別】



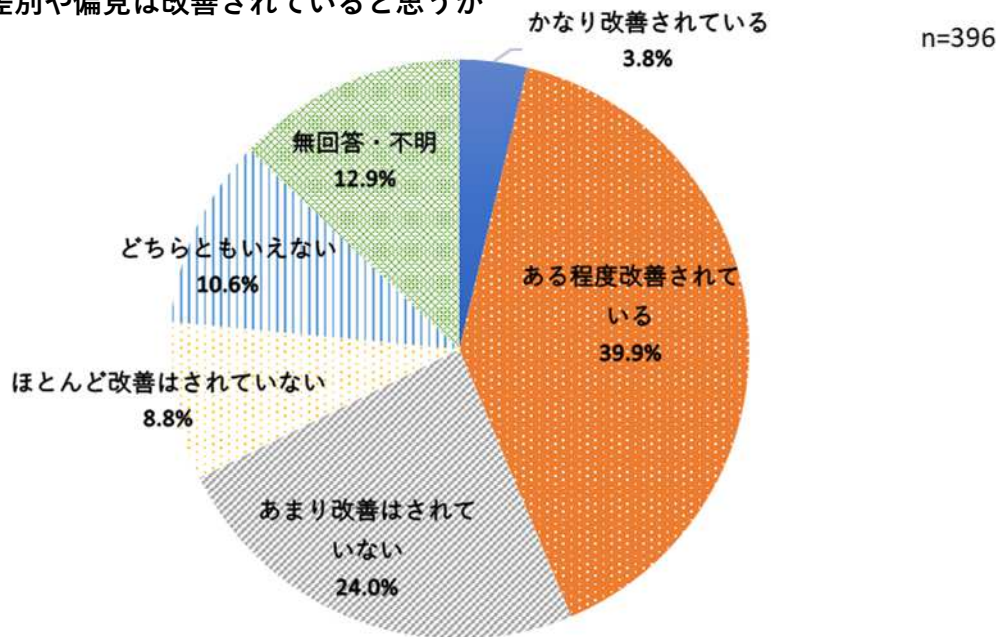
問7で「あると思う」「ある程度思う」と答えた方に伺います。

問7-1 障害のある人に対する差別や偏見は、ここ数年の中で改善されていると思いますか。
(1つだけを○で囲む)

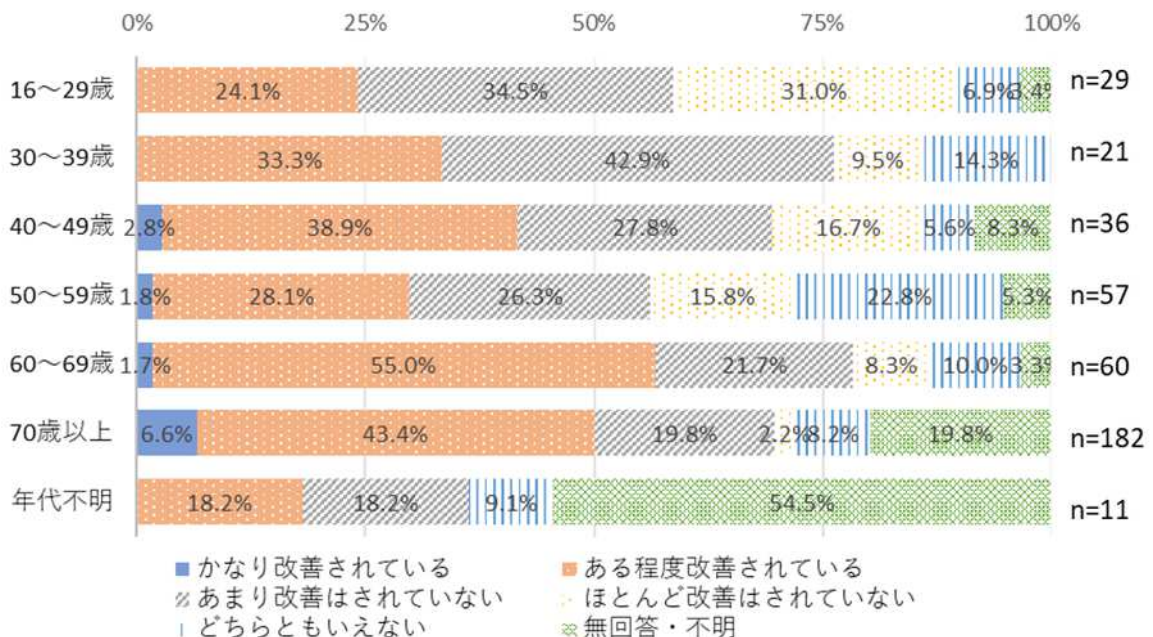
全体では「ある程度改善されている」が最も多い

年代別にみると、60歳以上では「ある程度改善されている」と回答した人が多くなっています。反対に59歳以下では「あまり改善はされていない」「ほとんど改善はされていない」と回答した人が多くなっています。16～29歳では、6割以上が「あまり改善はされていない」「ほとんど改善はされていない」と回答しています。

【全体】差別や偏見は改善されていると思うか



【年代別】



(3.障害者関連施策について)

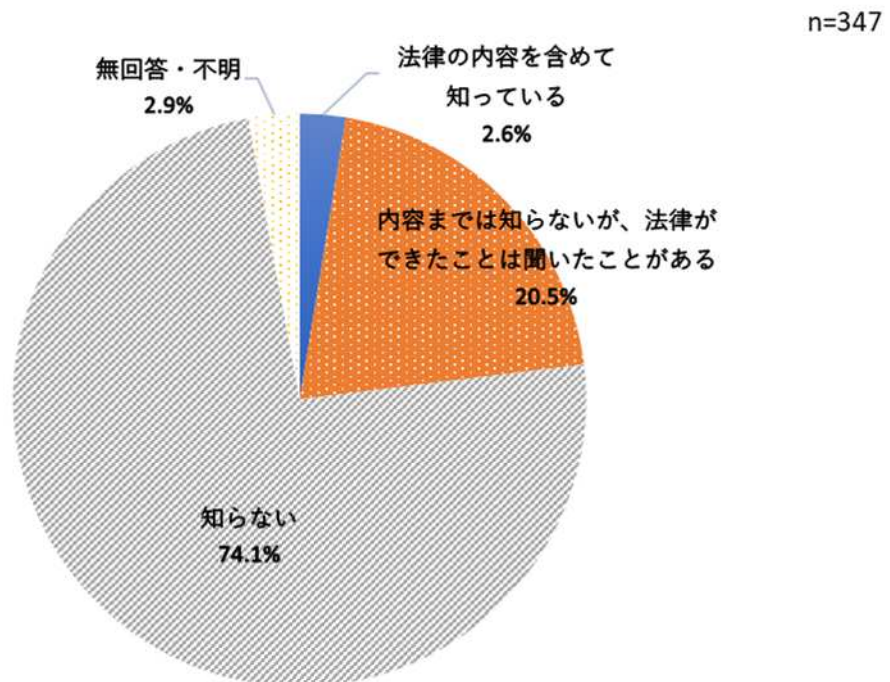
問7で「あまりないと思う」「ないと思う」「わからない」と答えた方に伺います。

問8 障害のある人もない人も、互いに、その人のらしさを認め合いながら共に生きる社会づくりを目指すため、平成28年4月に「障害者差別解消法」が施行されています。あなたは、この法律を知っていますか。
(1つだけを○で囲む)

「障害者差別解消法」を「知らない」が7割以上

「障害者差別解消法」を「知らない」と回答した人は74.1%となっています。「内容までは知らないが、法律ができたことは聞いたことがある」人は20.5%、「法律の内容を含めて知っている」人は2.6%となっています。

【全体】「障害者差別解消法」を知っているか



※次の問9には、以下の【資料】を読んでいただきご回答ください。）

【資料】平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（通称：障害者差別解消法）が施行されました。この法律では、行政機関や会社やお店などの事業所に「合理的配慮の提供」が求められています。

※「合理的配慮の提供」とは、わかりやすい表現では、「障害のある人への工夫」を示しています。例えば、障害のある人とない人が同じように生活するためには、受付窓口で耳の不自由な方には筆談で対応したり、商店で高い棚にある商品を店員が代わりにとってあげたりするなど、様々な配慮や工夫が必要になることがあります。

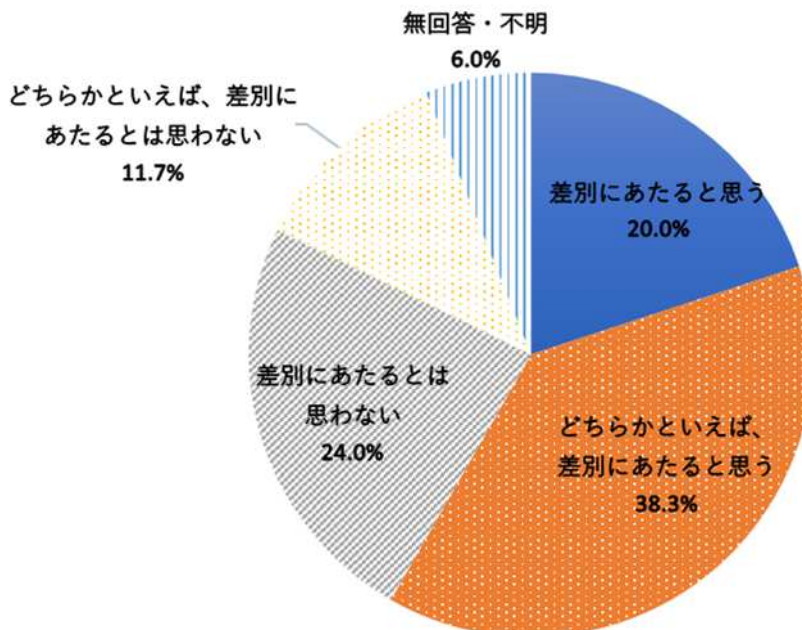
問9 あなたは、もし、行政機関や会社やお店などの事業所が「合理的な配慮や工夫」を行っていなかったとしたら、それが「障害のある人への差別」にあたると思いませんか。

「差別にあたると思う」「どちらかといえば差別にあたると思う」合わせると5割以上

「合理的な配慮や工夫」を行っていなかったとしたら、「どちらかといえば、差別にあたると思う」と回答した人が38.3%で最も多くなっています。これに「差別にあたるとは思わない」が24.0%、「差別にあたると思う」が20.0%で続いています。

【全体】「合理的な配慮や工夫」を行っていなかったら差別にあたると思いませんか

n=496



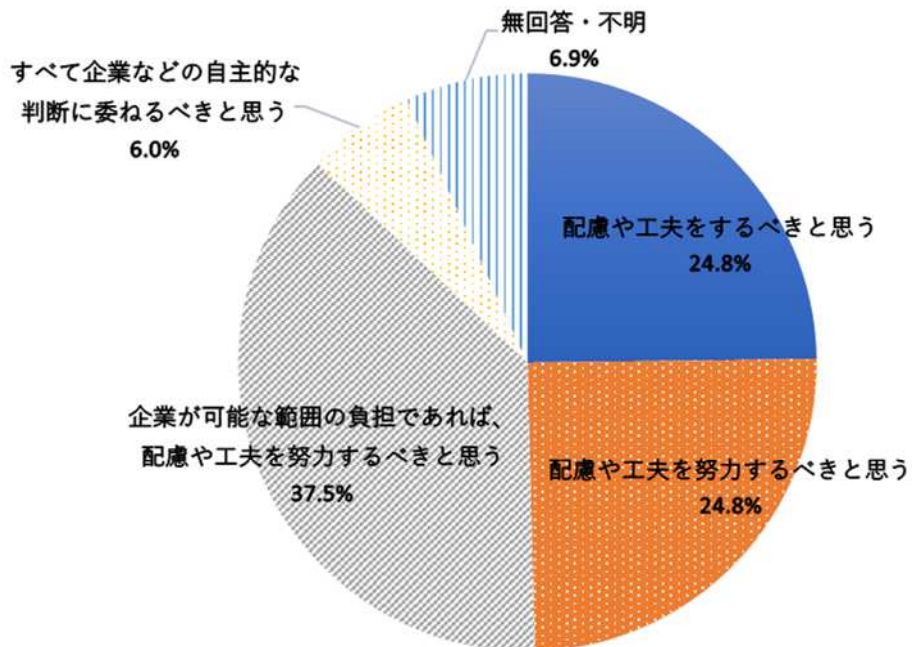
問10 障害のある人が、障害のない人と同じように生活していくためには、様々な配慮や工夫が必要となります。一方、こうした配慮や工夫を行うには、経済的な負担を伴う場合もあります。企業などがこうした配慮や工夫をどの程度行うべきと思いますか。

「配慮や工夫をするべき・努力するべき・可能な範囲で努力するべき」合わせると8割以上

「企業が可能な範囲の負担であれば、配慮や工夫を努力するべきと思う」が37.5%で最も多く、これに「配慮や工夫をするべきと思う」「配慮や工夫を努力するべきと思う」が24.8%で続いています。

【全体】 配慮や工夫をどの程度行うべきか

n=496



問11 市では、令和4年度から「富士市手話言語条例」を施行しましたが、この条例の中で、ろう者（※1）にとって互いの意思疎通する手段は「手話は言語」であるということを広く周知をしていくことを主としていますが、知っていますか。

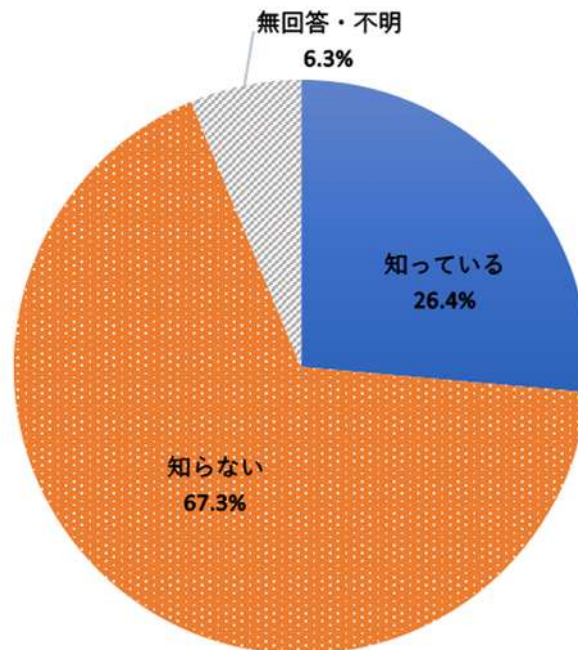
※1：ろう者…手話を母語もしくは主なコミュニケーションとしている人

「知っている」26.4%、「知らない」67.3%

富士市手話言語条例の中の「手話は言語」であるということについて「知っている」は26.4%、「知らない」は67.3%となっています。

【全体】「手話は言語」について知っているか

n=496



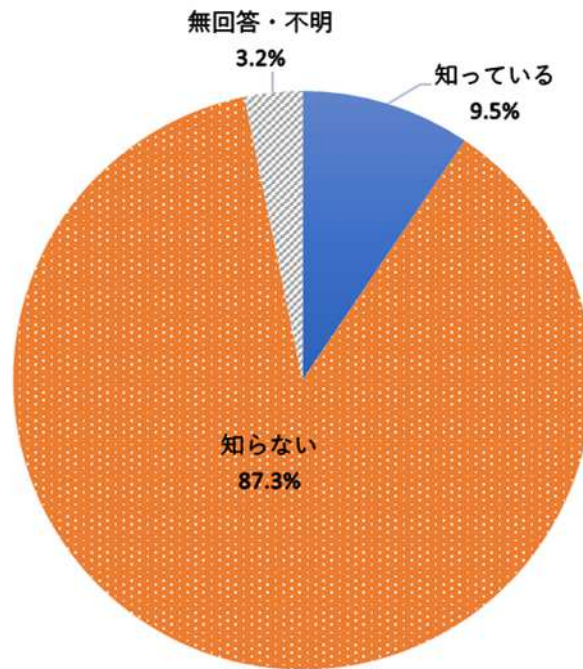
問12 市では、富士市手話言語条例を、市民に広く周知啓発をしていくことで、「9月23日は手話言語の国際デー」にちなんで、富士川サービスエリア内の大観覧車をシンボルカラーである「ブルーライト」にライトアップをしています。知っていますか。

「知っている」9.5%、「知らない」87.3%

9月23日の手話言語の国際デーに富士川サービスエリア内の大観覧車がブルーにライトアップされることを「知っている」は9.5%、「知らない」は87.3%となっています。

【全体】手話言語の国際デーのライトアップを知っているか

n=496



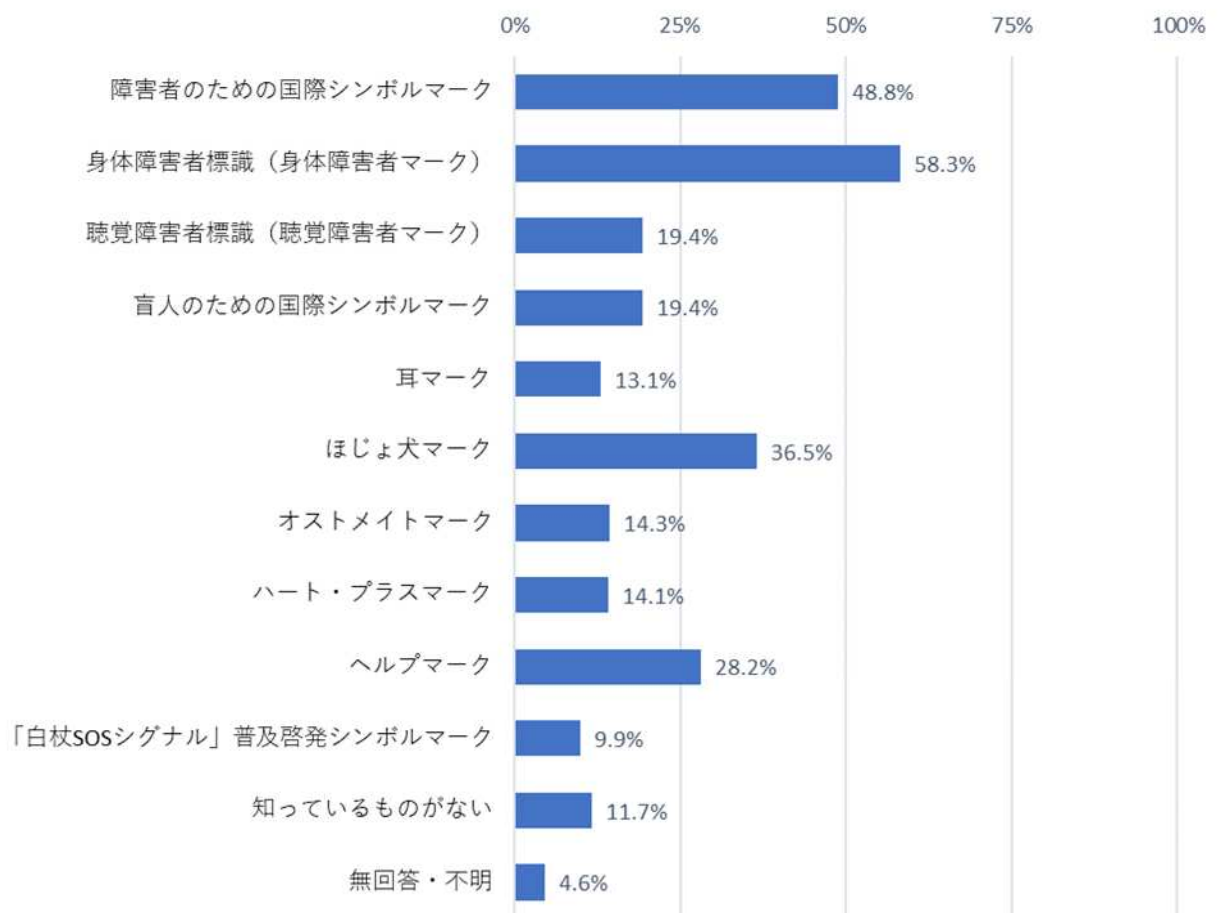
問13 障害者を支援するためのさまざまなマークがありますが、以下のマークで知っているものはありますか。
(あてはまるものすべてを○で囲む)

知っているマークは「身体障害者マーク」が最も多い

知っているマークは「身体障害者マーク」が 58.3%で最も多く、これに「国際シンボルマーク」48.8%、「ほじょ犬マーク」36.5%、「ヘルプマーク」28.2%が続いています。

【全体】障害者支援のためのマークで知っているものはあるか

n=496



障害者に関するマーク一覧



障害者のための国際シンボルマーク



身体障害者マーク（標識）



聴覚障害者マーク（標識）



盲人のための国際シンボルマーク



耳マーク



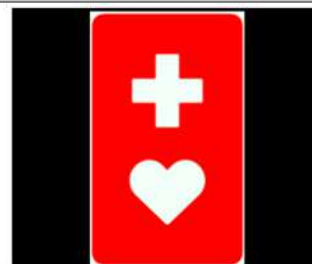
ほじょ犬マーク



オストメイトマーク



ハート・プラスマーク



ヘルプマーク



「白杖SOSシグナル」普及啓発
シンボルマーク

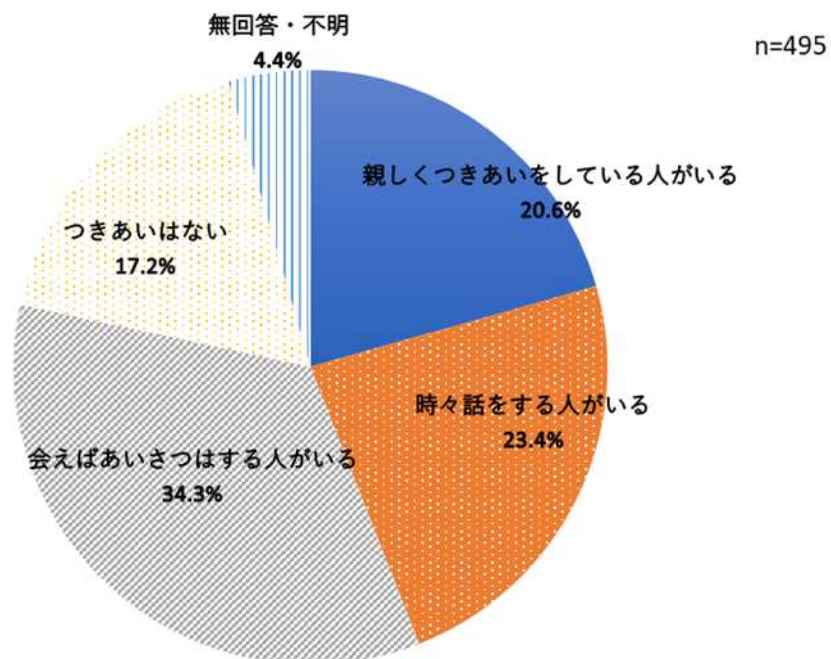
(4.障害者の方の日常生活について)

問14 近所の人、地域の人とのつきあいはありますか。(1つだけを○で囲む)

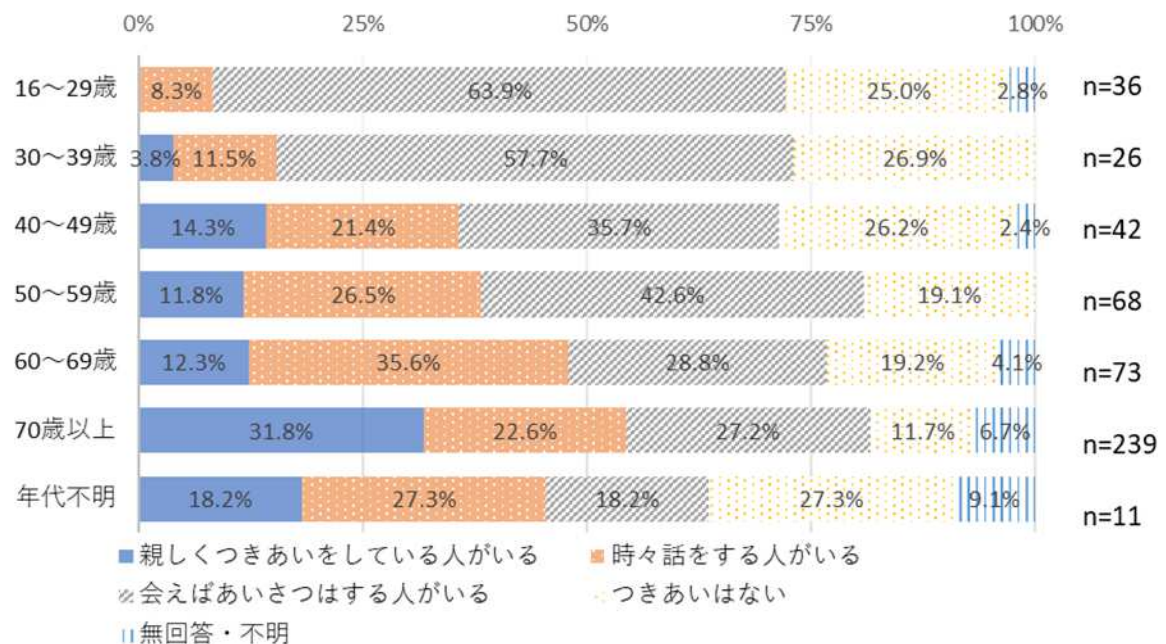
全体では「会えばあいさつはする人がいる」が最も多い

年代別にみると、10～50代では「会えばあいさつはする人がいる」が最も多くなっています。60代では「時々話をする人がいる」、70歳以上では「親しくつきあいをしている人がいる」が最も多くなっています。10代から40代の約1/4の人が「つきあいはない」と回答しています。

【全体】近所の人、地域の人とのつきあいはあるか



【年代別】

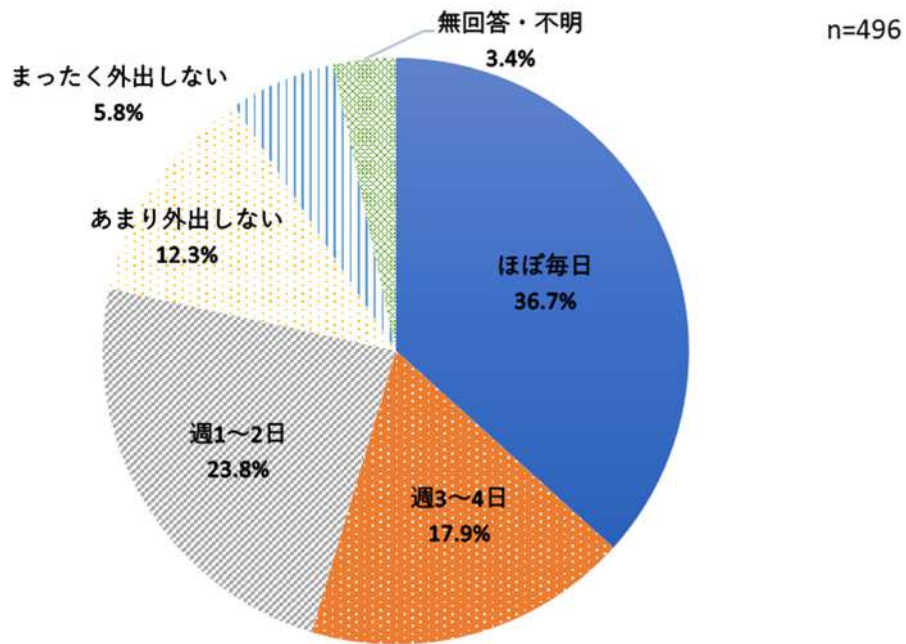


問15 あなたは、どのくらい外出しますか。(1つだけを○で囲む)

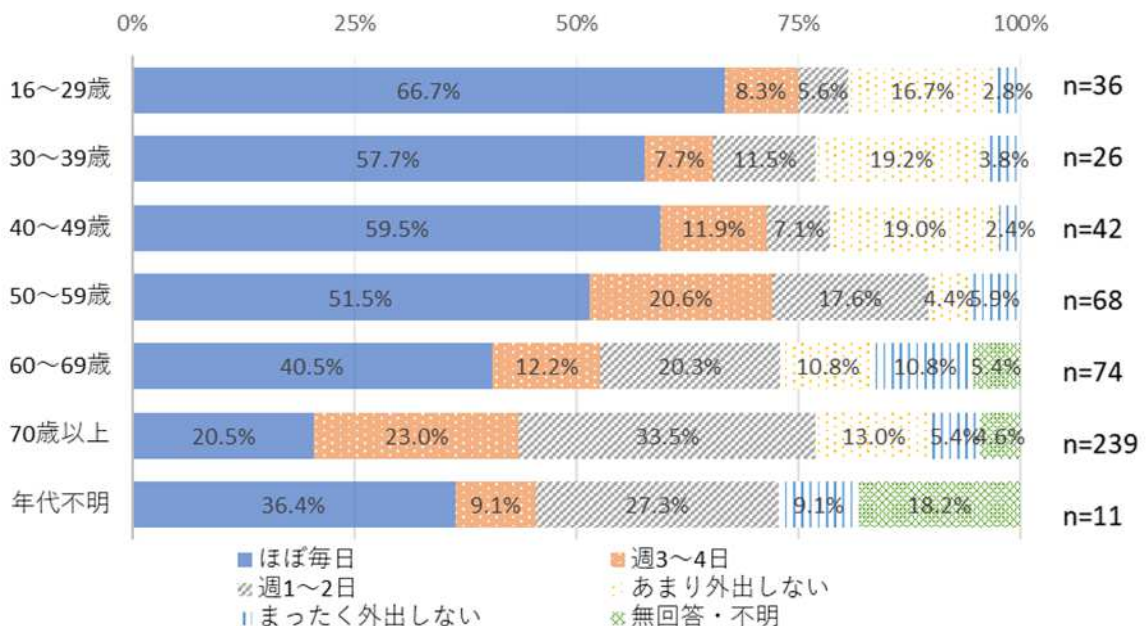
全体では「ほぼ毎日」外出する人が最も多い

全体では、「ほぼ毎日」外出する人が36.7%で最も多くなっています。
 年代別にみると、10代～60代は「ほぼ毎日」が最も多くなっています。70歳以上では「週1～2日」が33.5%で最も多く、これに「週3～4日」が23.0%、「ほぼ毎日」が20.5%で続いています。

【全体】どのくらい外出するか



【年代別】



問15で「ほぼ毎日」「週3～4日」「週1～2日」と答えた方に伺います。

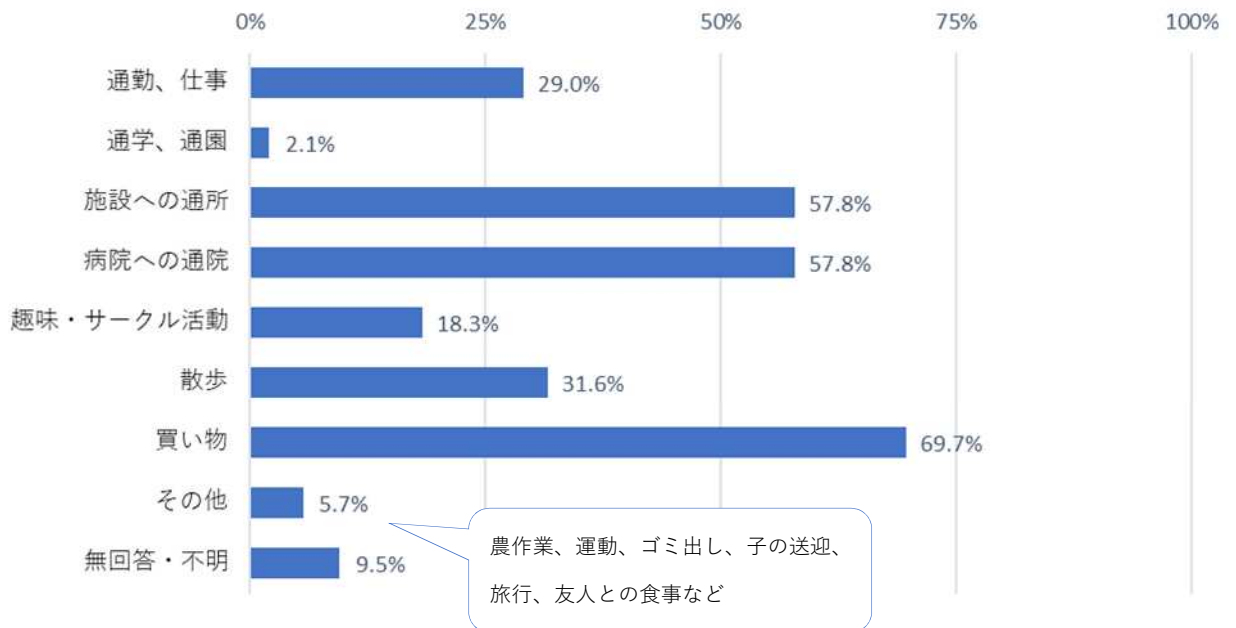
問15-1 外出の目的は何ですか。（あてはまるものすべてを○で囲む）

外出の目的は「買い物」が最も多い

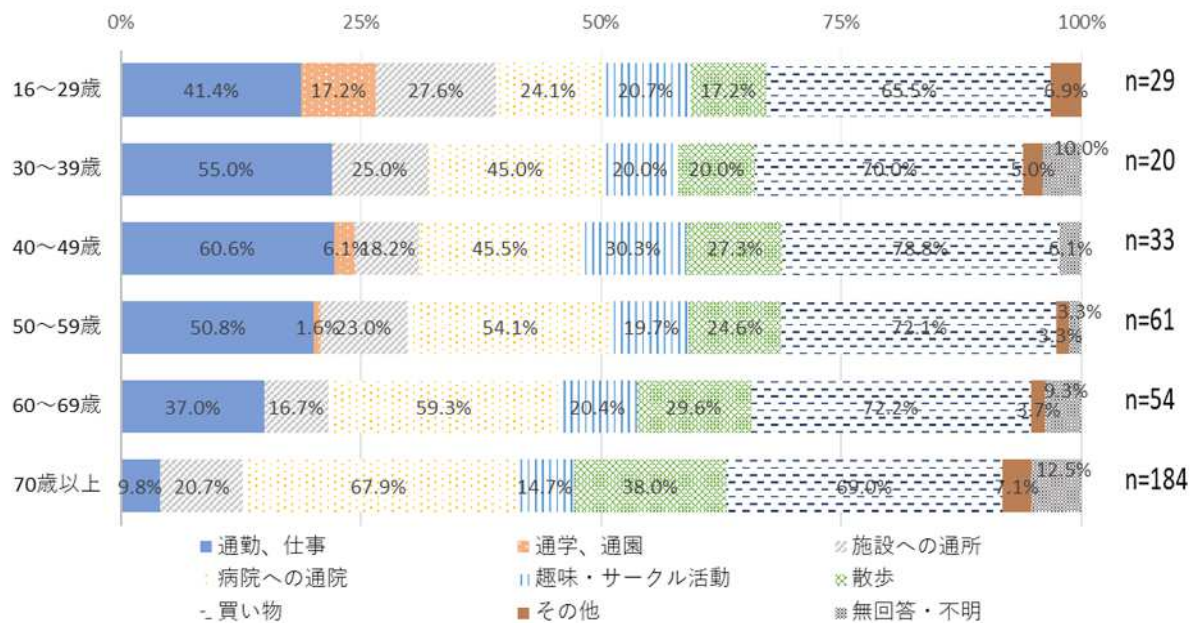
どの年代も、外出の目的は「買い物」が最も多くなっています。2番目に、10代から40代までは「通勤、仕事」、50代以上では「病院への通院」が多くなっています。

【全体】外出の目的

n=389



【年代別】



※年代不明 n=8 は含まれていません

問15で「あまり外出しない」「まったく外出しない」と答えた方に伺います。

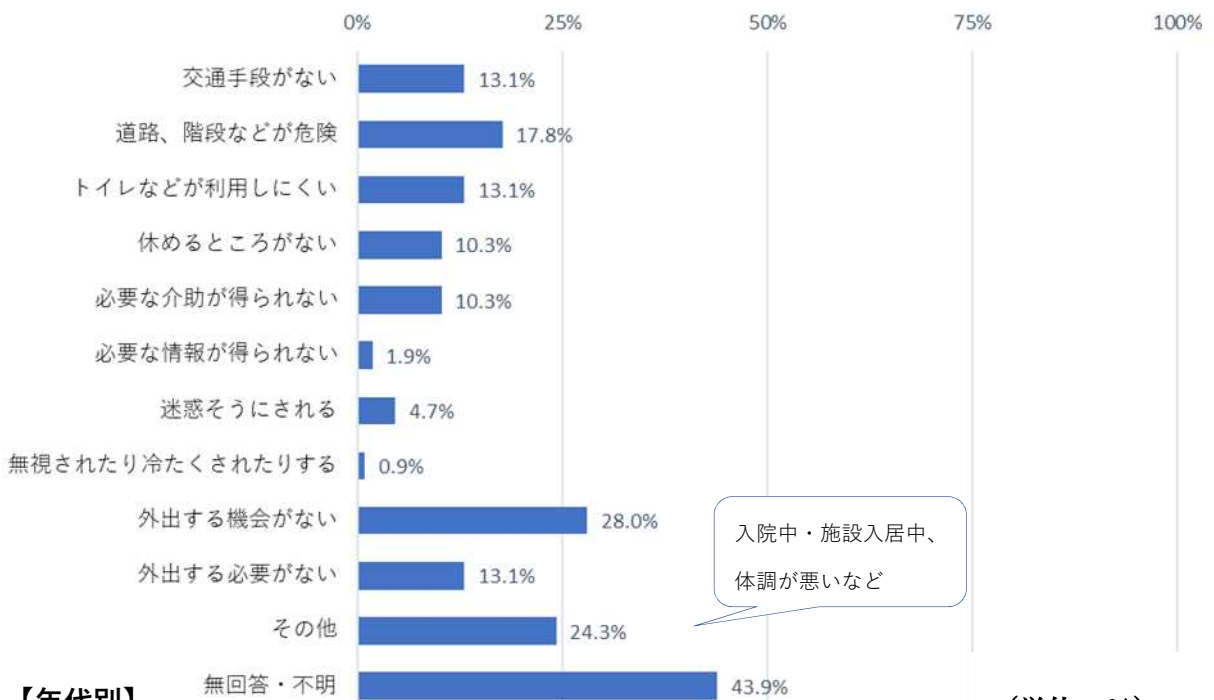
問15-2 外出しないは何ですか。（あてはまるものすべてを○で囲む）

全体では「外出する機会がない」が最も多い

全体では、外出しない理由は「外出する機会がない」が28.0%で最も多くなっています。コロナ過で外出を控えていると回答した人も見られました。
年代別にみると、30代と40代では「交通手段がない」と回答した人が最も多くなっています。

【全体】外出しない理由

n=107



【年代別】

(単位：%)

	有効回答数	交通手段がない	道路、階段などが危険	トイレなどが利用しにくい	休めるところがない	必要な介助が得られない	必要な情報が得られない	迷惑そうにされる	無視されたり冷たくされたりする	外出する機会がない	外出する必要がある	その他	無回答・不明
16～29歳	7件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	28.6	42.9	0.0
30～39歳	6件	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	16.7	0.0	16.7
40～49歳	9件	33.3	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	33.3	33.3	11.1	11.1
50～59歳	7件	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	57.1	14.3	57.1	71.4
60～69歳	20件	10.0	15.0	10.0	10.0	25.0	0.0	5.0	0.0	25.0	15.0	20.0	35.0
70歳以上	55件	9.1	25.5	20.0	12.7	5.5	1.8	5.5	0.0	23.6	7.3	25.5	54.5

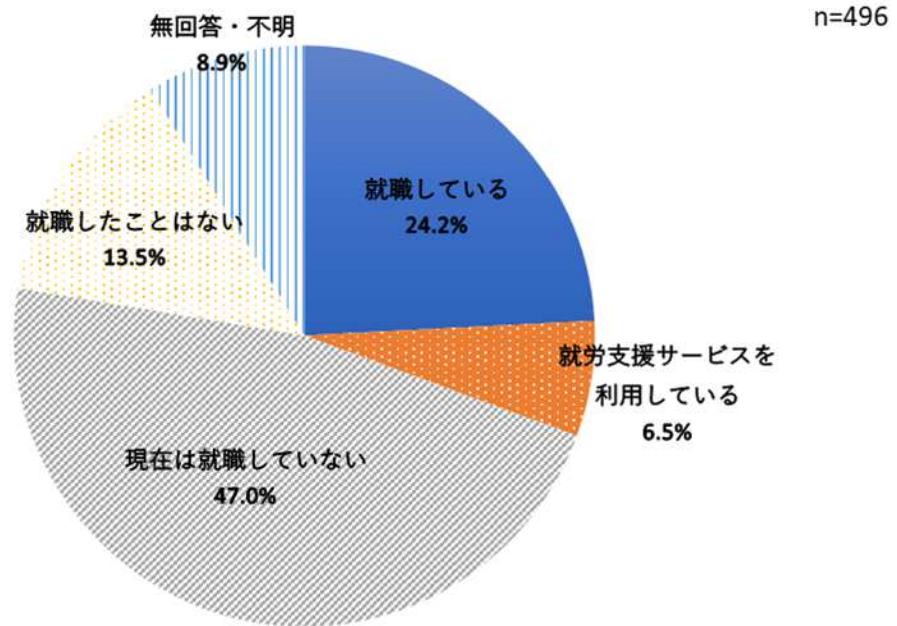
※年代不明3件は含まれていません

問16 あなたは就職していますか。(自営業、農業等含む) (1つだけを○で囲む)

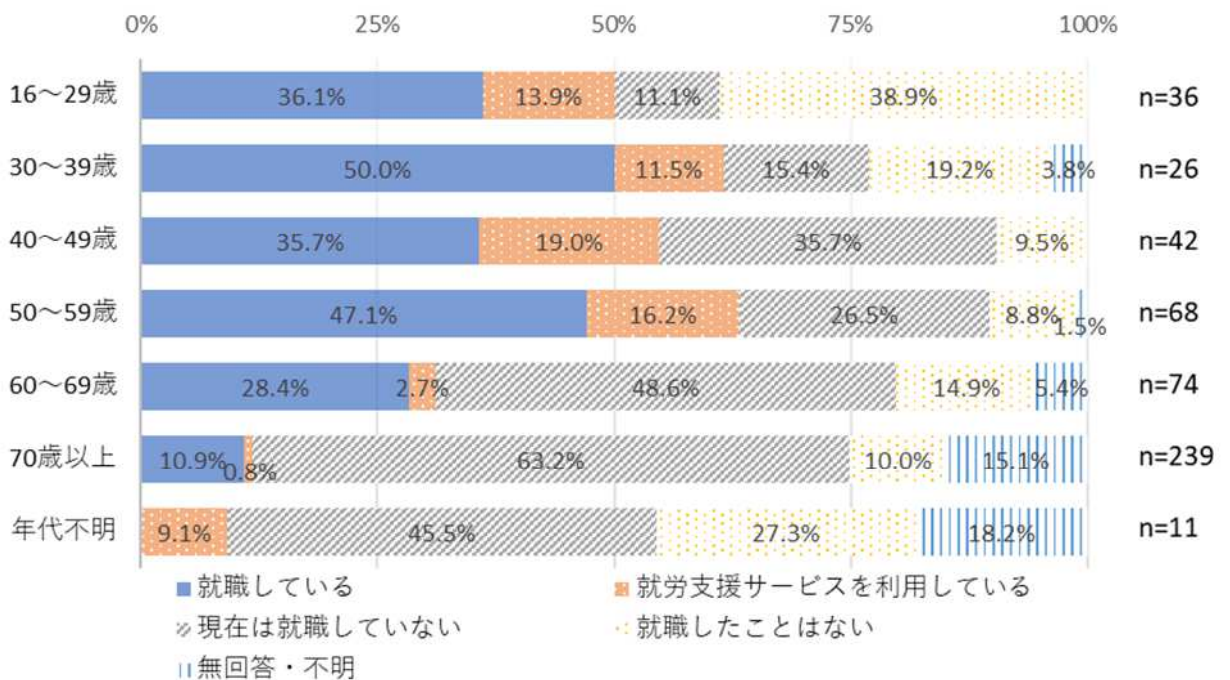
30代～50代までは「就職している」が最も多い

30代～50代までは「就職している」が最も多くなっています。60歳以上では、「現在は就職していない」が最も多くなっています。16～29歳の「就職したことがない」の中には、特別支援学校高等部在籍中の人が含まれています。

【全体】就職しているか



【年代別】



問16で「就職している」と答えた方に伺います。

問16-1 あなたの働き方はどのような形態ですか。(1つだけを○で囲む)

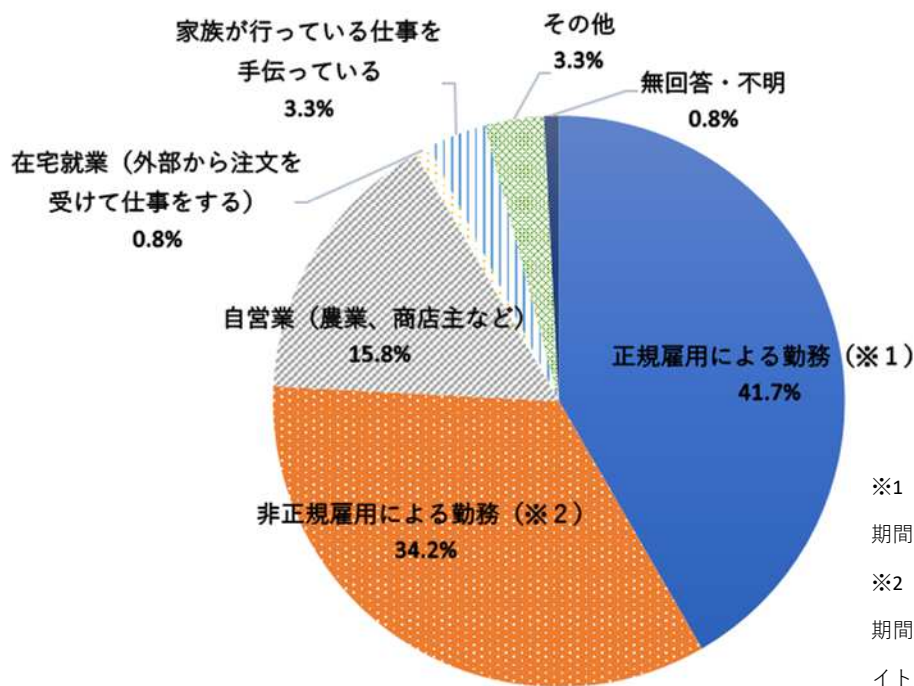
全体では「正規雇用による勤務」が最も多い

全体では、「正規雇用による勤務」が41.7%で最も多く、これに「非正規雇用による勤務」が34.2%で続いています。

年代別にみると、50代までは「正規雇用による勤務」、60代は「非正規雇用による勤務」、70歳以上は「自営業（農業、商店主など）」が最も多くなっています。

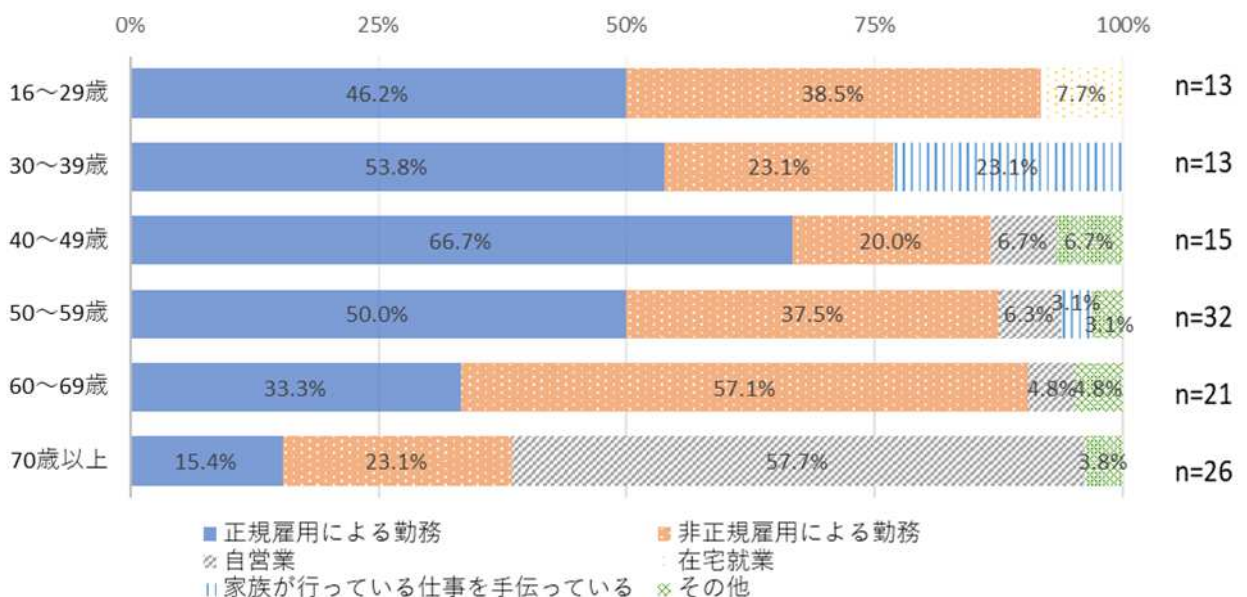
【全体】働き方の形態

n=120



※1 正規雇用による勤務・・・
期間を定めない雇用契約による常時勤務
※2 非正規雇用による勤務・・・
期間を定めた契約によるパート、アルバイト、派遣業務

【年代別】



問16で「就職している」と答えた方に伺います。

問16-2 現在の仕事について困っていることや悩んでいることはありますか。

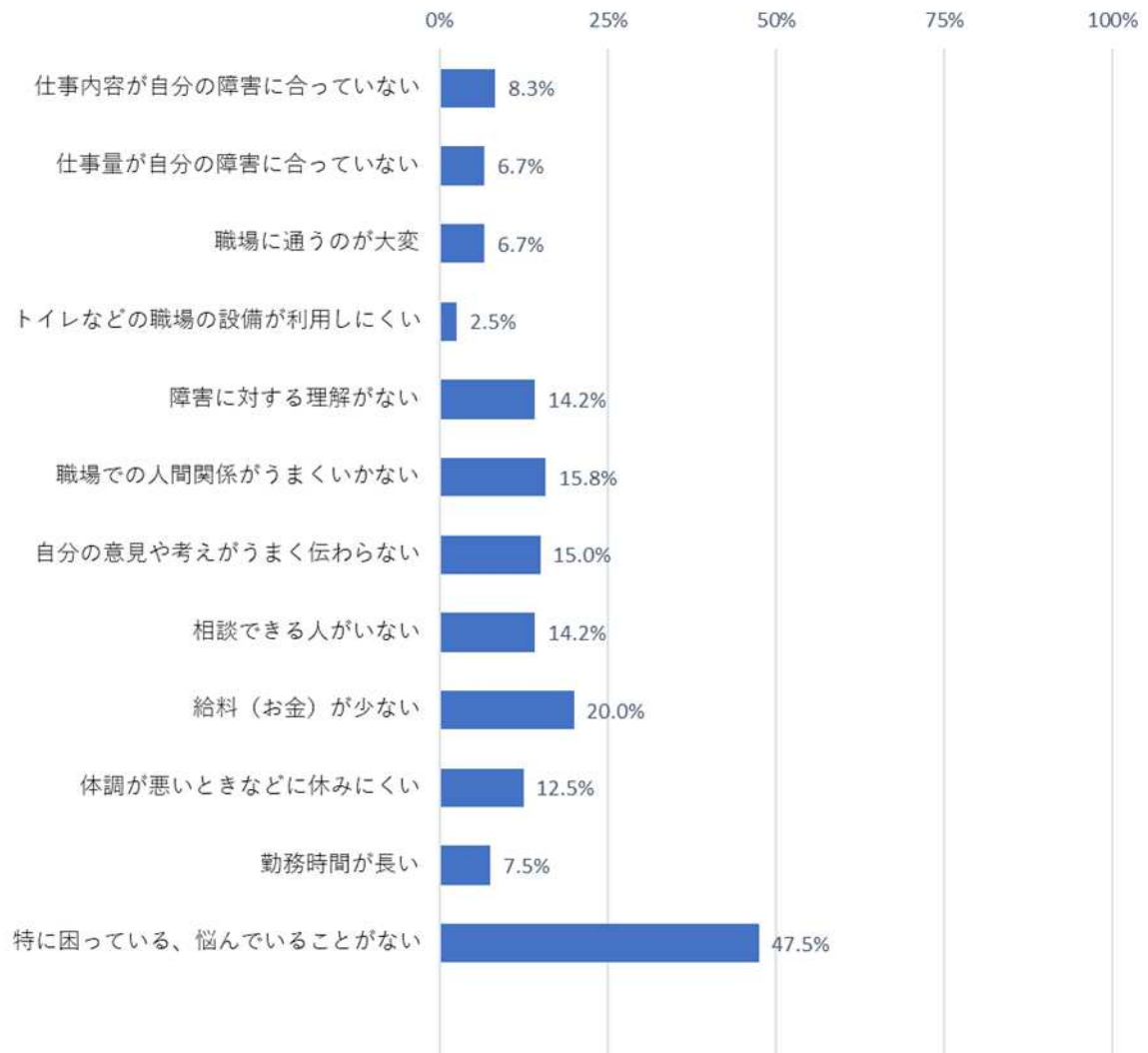
(あてはまるものすべてを○で囲む)

「仕事で困っていること、悩んでいること」は「給料が少ない」が最も多い

現在就職している人の中で、現在の仕事について「特に困っている、悩んでいることがない」と回答した人が47.5%となっていますが、過半数の人は様々な「困っている、悩んでいること」があると回答しています。仕事で困っていることや悩んでいることでは「給料（お金）が少ない」が20.0%で最も多くなっています。

【全体】現在の仕事で困っていることや悩んでいること

n=120



【年代別】

年代別にみると、16～29歳は「職場での人間関係がうまくいかない」「自分の意見や考えがうまく伝わらない」が46.2%で最も多くなっています。40代では「障害に対する理解が少ない」「体調が悪いときなどに休みにくい」が33.3%で最も多くなっています。

(単位：%)

	有効回答数	仕事内容が自分の障害に合っていない	仕事量が自分の障害に合っていない	職場に通うのが大変	トイレなどの職場の設備が利用しにくい	障害に対する理解が少ない	職場での人間関係がうまくいかない	自分の意見や考えがうまく伝わらない	相談できる人がいない	給料（お金）が少ない	体調が悪いときなどに休みにくい	勤務時間が長い	特に困っている、悩んでいることはない
16～29歳	13件	0.0	0.0	7.7	7.7	15.4	46.2	46.2	15.4	30.8	0.0	7.7	38.5
30～39歳	13件	7.7	7.7	7.7	0.0	7.7	23.1	23.1	38.5	7.7	7.7	7.7	46.2
40～49歳	15件	20.0	20.0	6.7	0.0	33.3	26.7	20.0	13.3	26.7	33.3	20.0	26.7
50～59歳	32件	15.6	6.3	9.4	3.1	18.8	18.8	12.5	15.6	21.9	12.5	12.5	53.1
60～69歳	21件	4.8	4.8	4.8	4.8	9.5	0.0	0.0	4.8	28.6	14.3	0.0	42.9
70歳以上	26件	0.0	3.8	3.8	0.0	3.8	0.0	7.7	7.7	7.7	7.7	0.0	61.5

【就労形態別】

就労形態別にみると、「特に困っている、悩んでいることはない」を除くと、正規雇用勤務者は「職場での人間関係がうまくいかない」が24.0%で最も多くなっています。非正規雇用勤務者は「給料（お金）が少ない」が29.3%で最も多くなっています。

(単位：%)

	有効回答数	仕事内容が自分の障害に合っていない	仕事量が自分の障害に合っていない	職場に通うのが大変	トイレなどの職場の設備が利用しにくい	障害に対する理解が少ない	職場での人間関係がうまくいかない	自分の意見や考えがうまく伝わらない	相談できる人がいない	給料（お金）が少ない	体調が悪いときなどに休みにくい	勤務時間が長い	特に困っている、悩んでいることはない
正規雇用による勤務	50件	4.0	6.0	4.0	4.0	18.0	24.0	20.0	18.0	14.0	14.0	12.0	52.0
非正規雇用による勤務	41件	14.6	7.3	12.2	2.4	17.1	14.6	12.2	14.6	29.3	12.2	4.9	43.9
自営業（農業、商店主など）	19件	5.3	5.3	0.0	0.0	5.3	0.0	5.3	10.5	5.3	10.5	0.0	52.6
在宅就業	1件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
家族が行っている仕事を手伝っている	4件	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0
その他	4件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0

※就労形態不明1件は含まれていません

問16で「就労支援サービス利用」「就職していない等」と答えた方に伺います。

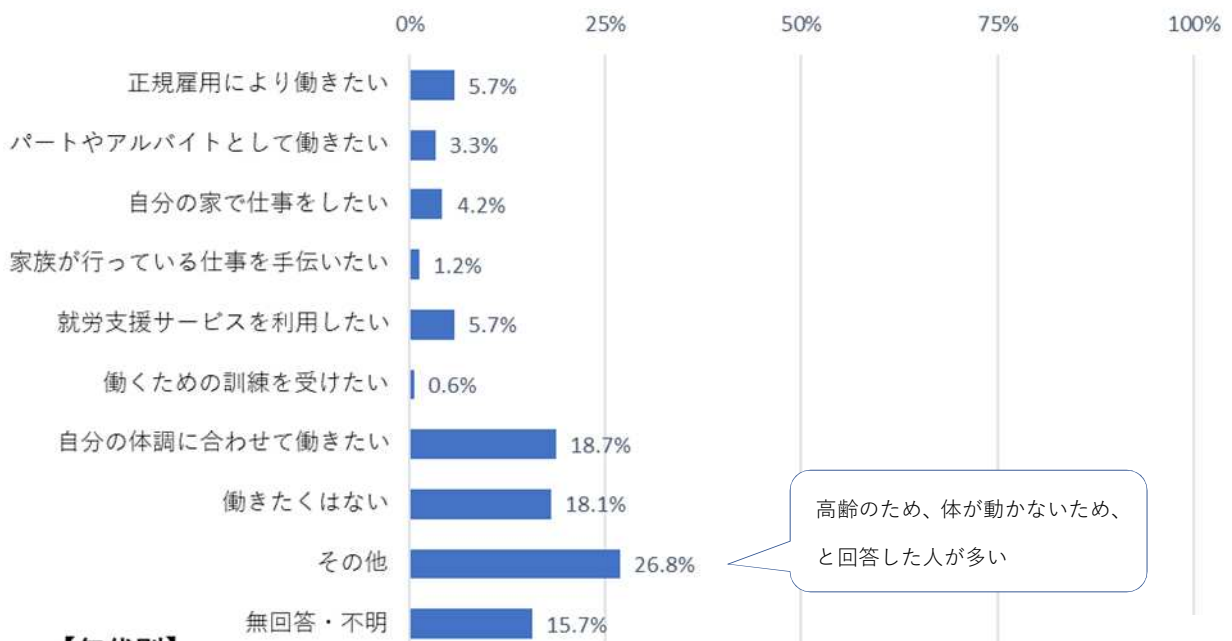
問17 あなたは、働くことについてどのように考えますか。 (1つだけを○で囲む)

「自分の体調に合わせて働きたい」が最も多い

全体では、「自分の体調に合わせて働きたい」が18.7%で最も多くなっています。
 年代別にみると、16～29歳の方は「正規雇用で働きたい」、30代～50代では「就労支援サービスを利用したい」と回答した人が多くなっています。60歳以上では「働きたくない」と回答した人が多くなっています。

【全体】働くことについてどのように考えるか

n=332



【年代別】

(単位：%)

	有効回答数	正規雇用により働きたい	パートやアルバイトとして働きたい	自分の家で仕事をしたい	家族が行っている仕事を手伝いたい	就労支援サービスを利用したい	働くための訓練を受けたい	自分の体調に合わせて働きたい	働きたくない	その他	無回答・不明
16～29歳	23件	21.7	0.0	0.0	4.3	4.3	4.3	34.8	4.3	13.0	13.0
30～39歳	12件	16.7	16.7	8.3	0.0	25.0	0.0	8.3	8.3	0.0	16.7
40～49歳	27件	3.7	3.7	3.7	0.0	14.8	0.0	40.7	7.4	11.1	14.8
50～59歳	35件	11.4	5.7	5.7	0.0	22.9	0.0	22.9	14.3	14.3	2.9
60～69歳	49件	4.1	6.1	8.2	0.0	2.0	0.0	20.4	18.4	26.5	14.3
70歳以上	177件	2.3	1.1	2.8	1.7	0.0	0.6	13.0	23.7	35.6	19.2
年代不明	9件	11.1	11.1	11.1	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0	22.2	11.1

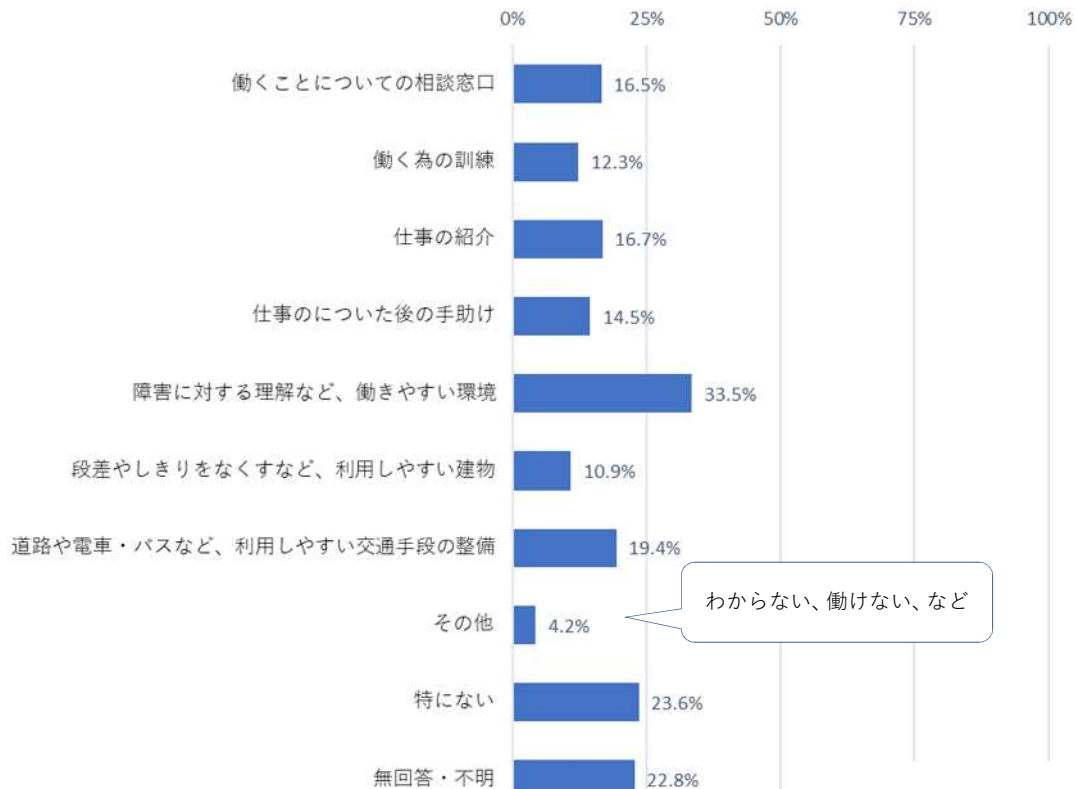
問18 あなたが働くために、どんなことが必要だと思いますか。(あてはまるすべてを○で囲む)

「障害に対する理解など、働きやすい環境」が最も多い

全体では、「障害に対する理解など、働きやすい環境」が33.5%で最も多くなっています。年代別にみると、10代～60代までは「障害に対する理解など、働きやすい環境」が最も多く、70歳以上では「特にない」が最も多くなっています。

【全体】働くためにどんなことが必要だと思うか

n=496



【年代別】

(単位：%)

年代	有効回答数	働くことについての相談窓口	働くための訓練	仕事の紹介	仕事についた後の手助け	障害に対する理解など、働きやすい環境	段差やしきりをなくすなど、利用しやすい建物	道路や電車・バスなど、利用しやすい交通手段の整備	その他	特にない	無回答・不明
16～29歳	36件	33.3	30.6	36.1	36.1	75.0	8.3	38.9	2.8	11.1	0.0
30～39歳	26件	23.1	26.9	30.8	34.6	57.7	7.7	30.8	0.0	11.5	11.5
40～49歳	42件	31.0	19.0	31.0	31.0	61.9	16.7	21.4	7.1	16.7	4.8
50～59歳	68件	25.0	14.7	25.0	20.6	51.5	13.2	23.5	4.4	14.7	10.3
60～69歳	74件	13.5	8.1	21.6	9.5	29.7	13.5	16.2	6.8	28.4	12.2
70歳以上	239件	8.4	7.1	4.6	4.6	15.1	8.8	13.8	3.8	29.7	37.7

※年代不明 11 件は含まれていません

問19 あなたは今の生活に幸せを感じていますか。

(1つだけを○で囲む)

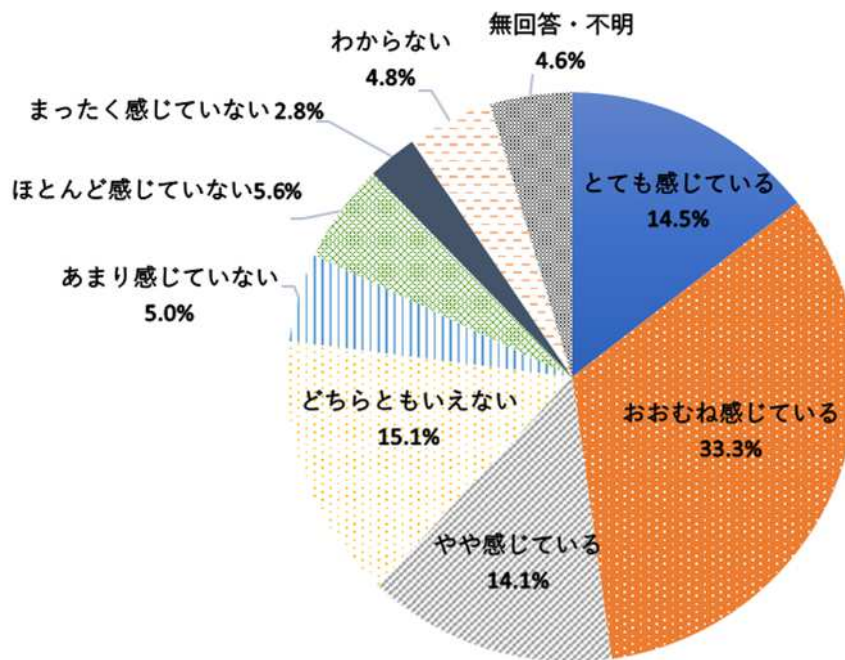
「とても感じている」「おおむね感じている」「やや感じている」合わせると6割以上

全体では、「おおむね感じている」が33.3%で最も多くなっています。

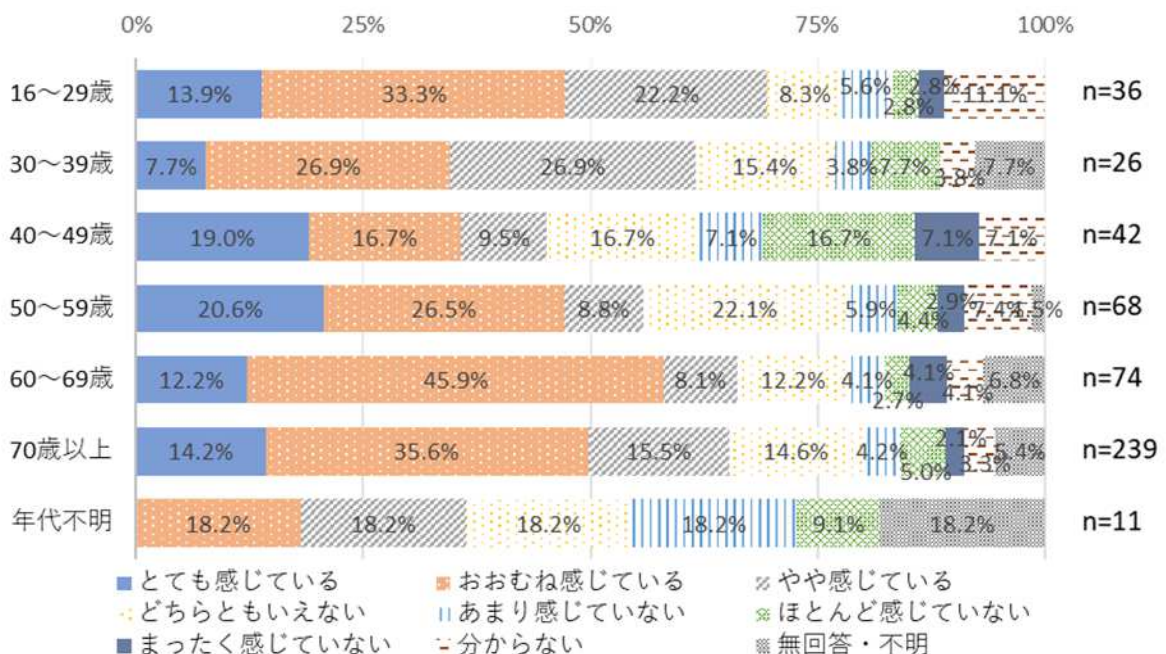
年代別にみると、40代では約3割が「あまり感じていない」「ほとんど感じていない」「まったく感じていない」と回答しています。

【全体】今の生活に幸せを感じているか

n=496



【年代別】



問20 あなたには、困ったり不安に思っていることはありますか。

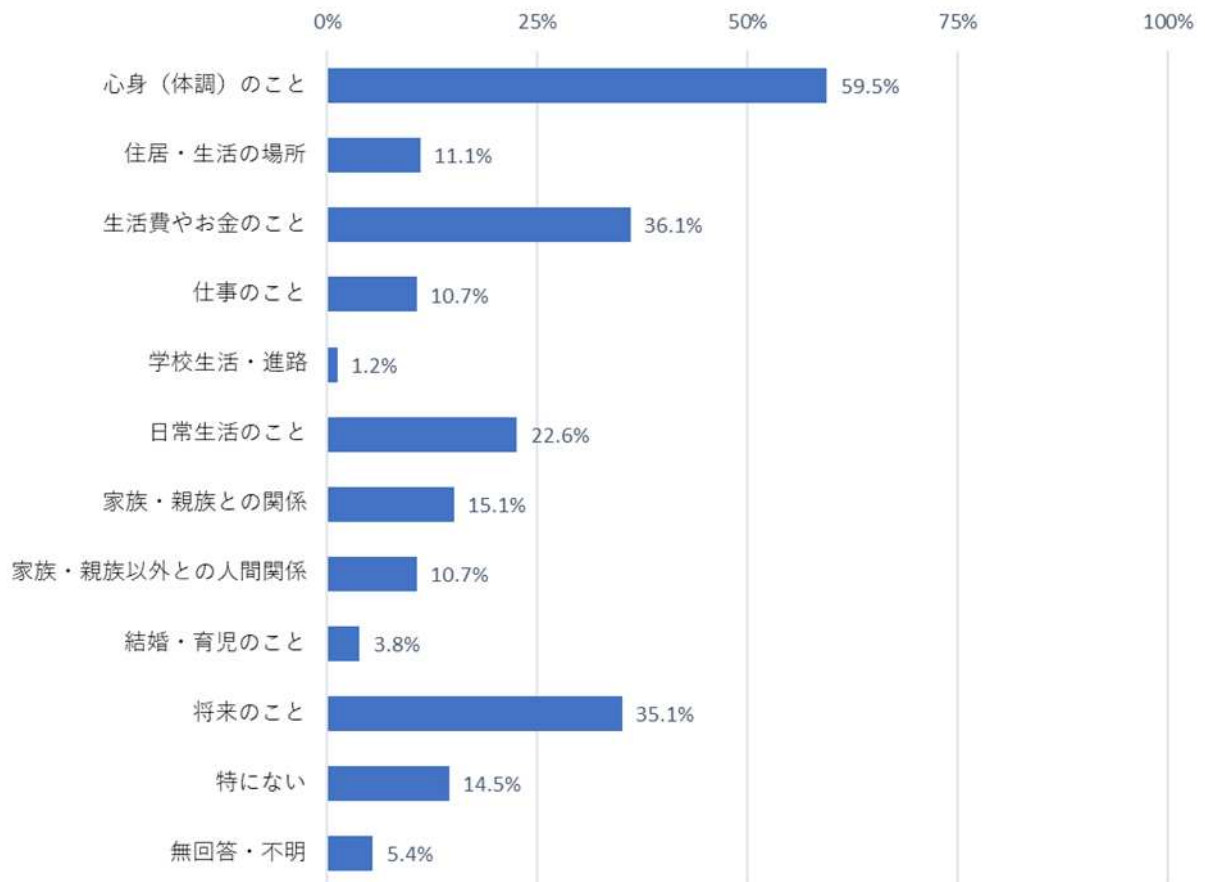
(あてはまるものすべてを○で囲む)

困ったり不安に思っていることは「心身（体調）のこと」が約6割

困ったり不安に思っていることは、「心身（体調）のこと」が59.5%で最も多く、これに「生活費やお金のこと」が36.1%、「将来のこと」が35.1%が続いています。

【全体】困ったり不安に思っていること

n=496



【年代別】

年代別にみると、10代～30代では「将来のこと」、40代以上では「心身（体調）のこと」が最も多くなっています。どの年代も「生活費やお金のこと」と回答した人は多くみられます。

(単位：%)

	有効回答数	心身（体調）のこと	住居・生活のこと	生活費やお金のこと	仕事のこと	学校生活・進路	日常生活のこと	家族・親族との関係	家族・親族以外との人間関係	結婚・育児のこと	将来のこと	特にない	無回答・不明
16～29歳	36件	47.2	22.2	38.9	25.0	8.3	16.7	11.1	22.2	11.1	66.7	5.6	0.0
30～39歳	26件	30.8	7.7	57.7	30.8	0.0	23.1	19.2	19.2	19.2	65.4	0.0	7.7
40～49歳	42件	59.5	21.4	52.4	33.3	2.4	28.6	33.3	16.7	14.3	57.1	19.0	0.0
50～59歳	68件	55.9	8.8	45.6	20.6	1.5	20.6	20.6	17.6	2.9	44.1	17.6	1.5
60～69歳	74件	55.4	8.1	33.8	2.7	0.0	14.9	9.5	9.5	1.4	29.7	16.2	10.8
70歳以上	239件	66.5	8.8	28.5	1.3	0.0	24.7	11.3	4.2	0.4	20.9	15.5	5.9

※年代不明 11 件は含まれていません

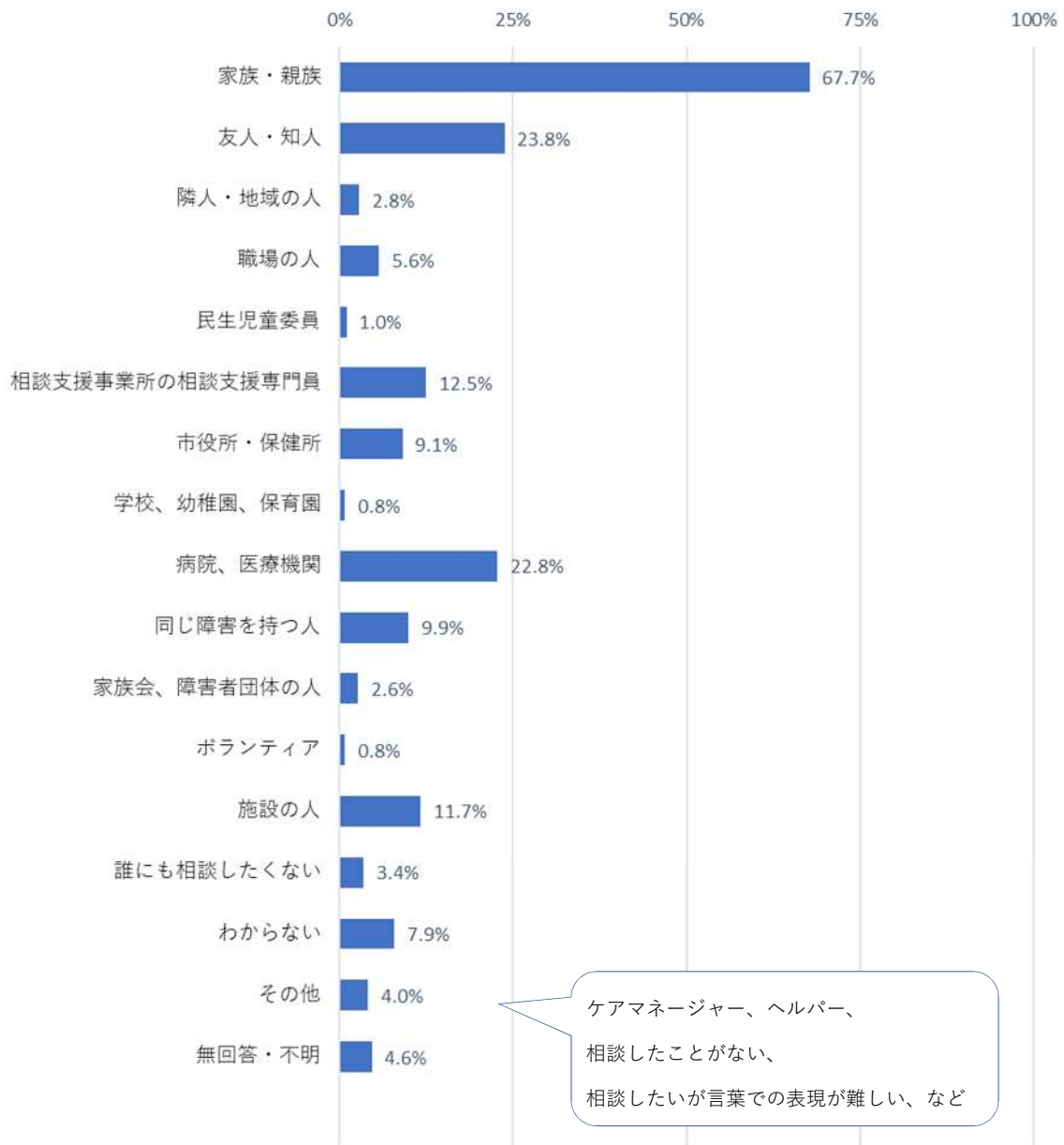
問2 1 あなたは、困ったり不安に思っていることを誰に相談したいと思いますか。
(あてはまるものすべてを○で囲む)

困ったり不安に思っていることの相談先は「家族」が最も多い

困ったり不安に思っていることを「家族」に相談したいと回答した人が67.7%で最も多くなっています。これに「友人・知人」が23.8%、「病院・医療機関」が22.8%が続いています。

【全体】困ったり不安に思っていることの相談先

n=496



【年代別】

相談先は、すべての年代で「家族・親族」と回答した人が最も多くなっています。2番目に多いのは、10代～30代、50代～60代では「友人・知人」、40代と70歳以上では「病院、医療機関」となっています。

(単位：%)

	有効回答数	家族・親族	友人・知人	隣人、地域の人	職場の人	民生児童委員	相談支援事業所の相談支援専門員	市役所・保健所	学校、幼稚園、保育園	病院、医療機関	同じ障害を持つ人	家族会、障害者団体の人	ボランティア	施設の人	誰にも相談したくない	わからない	その他	無回答・不明
16～29歳	36件	63.9	30.6	2.8	16.7	0.0	11.1	11.1	2.8	25.0	8.3	2.8	0.0	19.4	8.3	5.6	8.3	0.0
30～39歳	26件	61.5	30.8	0.0	11.5	0.0	19.2	3.8	0.0	19.2	19.2	3.8	3.8	23.1	3.8	11.5	3.8	3.8
40～49歳	42件	69.0	16.7	2.4	7.1	2.4	21.4	16.7	2.4	35.7	16.7	7.1	0.0	4.8	4.8	7.1	2.4	0.0
50～59歳	68件	67.6	32.4	1.5	16.2	0.0	11.8	8.8	1.5	16.2	8.8	5.9	1.5	19.1	1.5	7.4	2.9	2.9
60～69歳	74件	62.2	24.3	2.7	2.7	0.0	12.2	9.5	0.0	20.3	14.9	1.4	1.4	12.2	2.7	8.1	6.8	6.8
70歳以上	239件	71.1	20.9	3.8	1.3	1.7	10.9	7.9	0.0	23.8	6.3	1.3	0.4	8.8	2.9	7.9	2.9	5.4

※年代不明 11 件は含まれていません

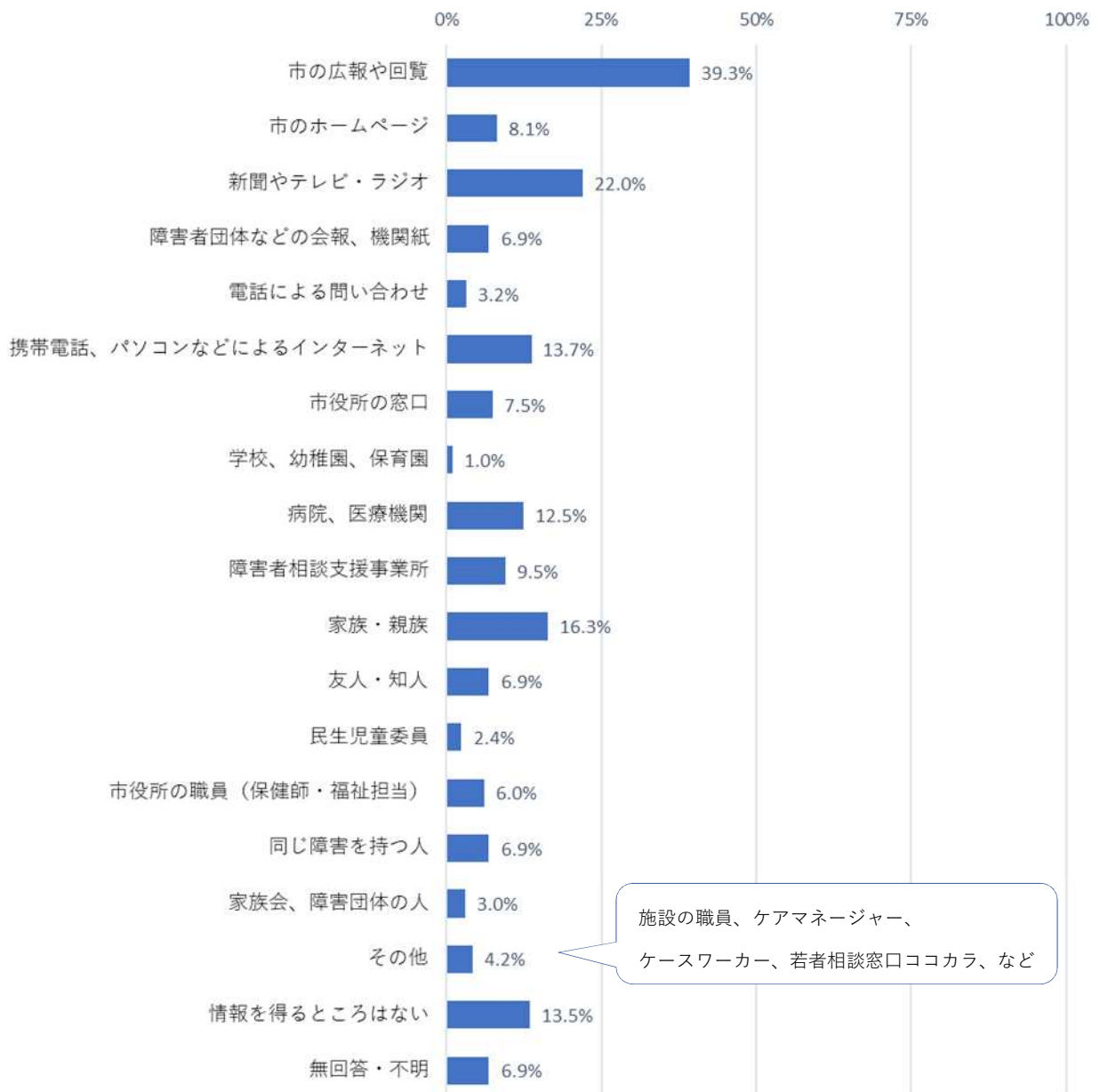
問22 あなたは現在、どのように福祉サービスなどの情報を得ていますか。
(あてはまるものすべてを○で囲む)

福祉サービスなどの入手先は「市の広報や回覧」が約4割

どのように福祉サービスなどの情報を得ているかについては、「市の広報や回覧」が39.3%で最も多く、これに「新聞やテレビ・ラジオ」が22.0%、「家族・親族」が16.3%で続いています。

【全体】福祉サービスの情報の入手先

n=496



【年代別】

情報の入手先を年代別にみると、16～29歳では「家族・親族」、30代では「携帯電話、パソコンなどによるインターネット」、40代以上では「市の広報や回覧」が最も多くなっています。

また、59歳以下では「インターネット」で情報を得ている人が多く、70歳以上では「新聞やテレビ・ラジオ」で情報を得ている人が多いことがわかります。

どの年代でも、1～2割の人は「情報を得るところがない」と回答しています。

(単位：%)

	有効回答数	市の広報や回覧	市のホームページ	新聞やテレビ・ラジオ	障害者団体などの会報、機関紙	電話による問い合わせ	携帯電話、パソコンなどによるインターネット	市役所の窓口	学校、幼稚園、保育園	病院、医療機関	障害者相談支援事業所	家族・親族	友人・知人	民生児童委員	市役所の職員（保健師・福祉担当）	同じ障害者を持つ人	家族会、障害者団体の人	その他	情報を得るところはない	無回答・不明
16～29歳	36件	22.2	11.1	13.9	13.9	0.0	22.2	0.0	2.8	16.7	16.7	25.0	5.6	0.0	2.8	8.3	8.3	8.3	16.7	0.0
30～39歳	26件	23.1	15.4	11.5	3.8	0.0	26.9	3.8	0.0	3.8	11.5	7.7	0.0	3.8	7.7	11.5	7.7	3.8	19.2	3.8
40～49歳	42件	31.0	2.4	7.1	7.1	4.8	28.6	9.5	4.8	14.3	19.0	11.9	2.4	0.0	9.5	7.1	2.4	2.4	16.7	2.4
50～59歳	68件	36.8	14.7	13.2	7.4	2.9	26.5	13.2	0.0	13.2	20.6	11.8	8.8	1.5	11.8	11.8	4.4	2.9	10.3	1.5
60～69歳	74件	40.5	10.8	13.5	9.5	4.1	9.5	9.5	0.0	13.5	8.1	13.5	8.1	1.4	4.1	8.1	0.0	10.8	12.2	8.1
70歳以上	239件	47.3	5.0	32.6	4.6	3.8	5.9	6.7	0.4	11.7	3.8	19.7	7.9	3.8	4.6	4.6	2.1	2.5	13.0	9.2

※年代不明11件は含まれていません

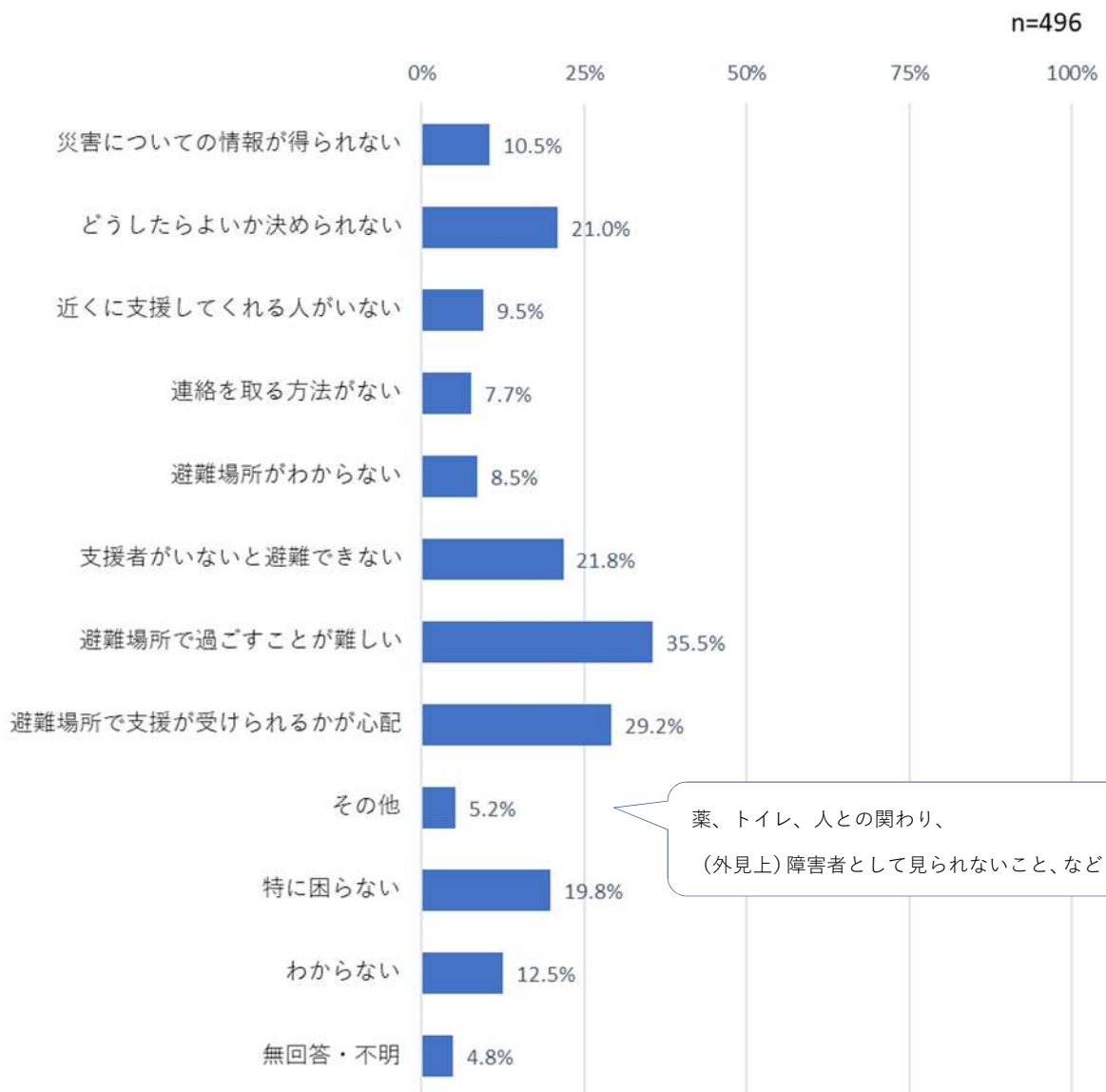
問 2 3 災害が起きたとき、あなたが困ることは何ですか。（あてはまるものすべてを○で囲む）

災害が起きた時困ることは「避難場所で過ごすことが難しい」が3割以上

災害が起きたとき困ることは、「避難場所で過ごすことが難しい」が 35.5%で最も多く、これに「避難場所で支援が受けられるかが心配」「支援者がいないと避難できない」「どうしたらよいか決められない」が続いています。

「その他」では、多くの人が「薬が心配」と回答しています。

【全体】災害が起きたとき困ること



【年代別】

年代別にみると、16～29歳では「どうしたらよいか決められない」が最も多くなっています。30代、40代、60代、70歳以上では「避難所で過ごすのが難しい」が最も多くなっています。50代では「避難所で支援が受けられるかが心配」が最も多くなっています。

(単位：%)

	有効回答数	災害についての情報を得られない	どうしたらよいか決められない	近くに支援している人がいない	連絡を取る方法がない	避難場所がわからない	支援者がいないと避難できない	避難場所で過ごすのが難しい	避難場所で支援が受けられるかが心配	その他	特に困らない	わからない	無回答・不明
16～29歳	36件	11.1	41.7	11.1	11.1	13.9	19.4	36.1	25.0	2.8	13.9	8.3	0.0
30～39歳	26件	3.8	26.9	7.7	7.7	0.0	7.7	38.5	34.6	3.8	26.9	7.7	0.0
40～49歳	42件	9.5	31.0	19.0	7.1	9.5	16.7	42.9	28.6	9.5	21.4	14.3	0.0
50～59歳	68件	14.7	27.9	7.4	10.3	7.4	27.9	30.9	38.2	4.4	13.2	11.8	2.9
60～69歳	74件	9.5	10.8	9.5	6.8	6.8	17.6	31.1	25.7	12.2	24.3	10.8	6.8
70歳以上	239件	9.2	15.1	7.9	6.3	7.9	24.3	36.0	26.8	3.3	20.5	14.6	6.3

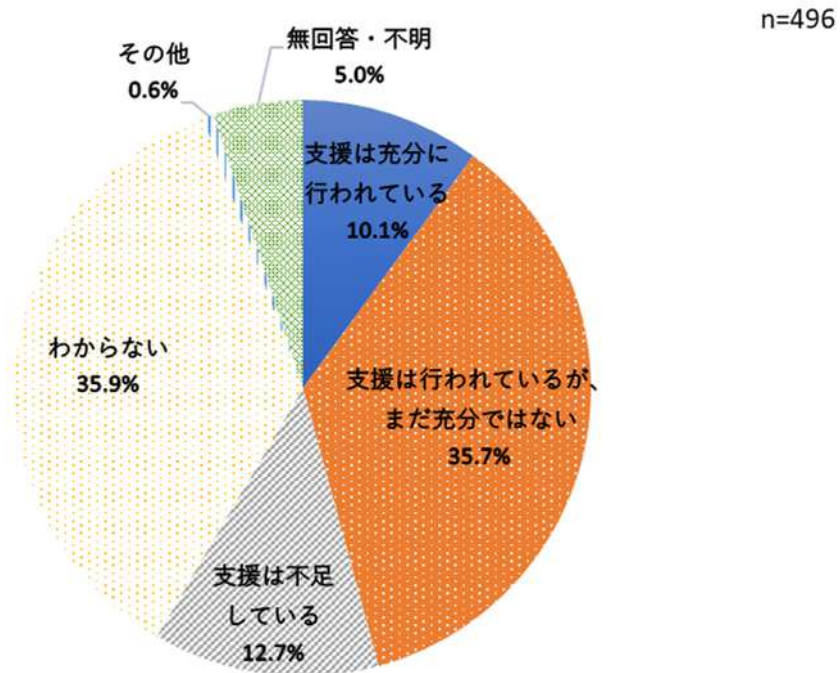
※年代不明 11 件は含まれていません

問24 障害福祉サービスなどの障害者への支援は、充分に行われていると思いますか。
(1つだけを○で囲む)

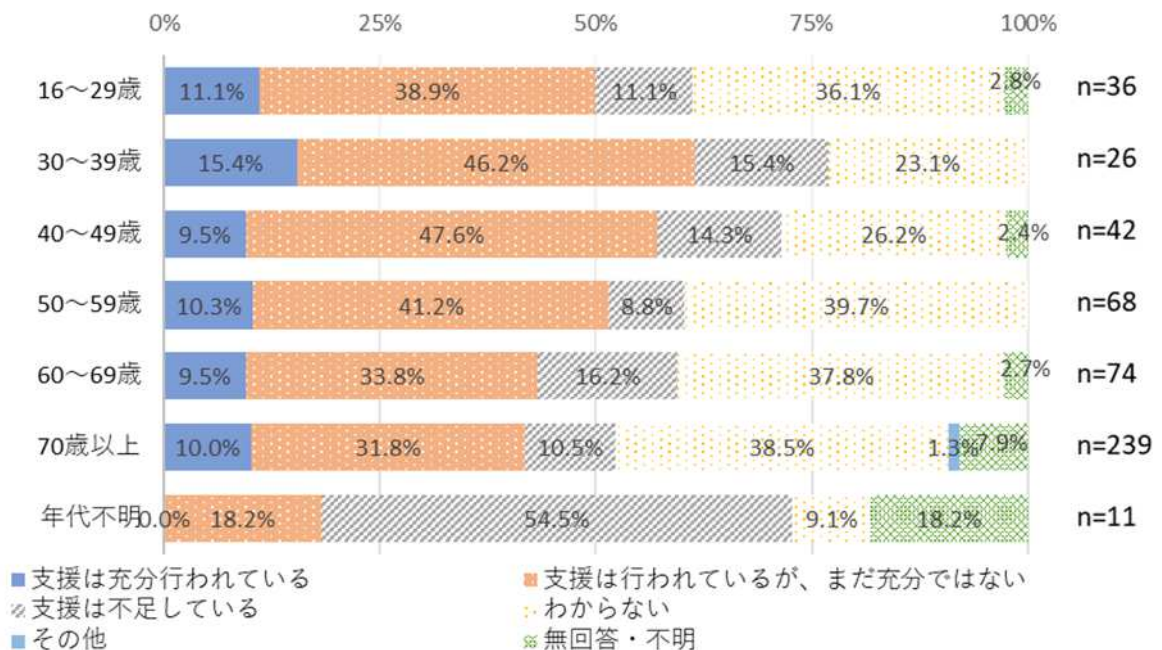
支援は「まだ充分ではない」「不足している」を合わせると5割弱

全体では、障害者への支援は「まだ充分ではない」と「不足している」を合わせると48.4%となっています。「充分に行われている」と回答した人は10.1%となっています。
年代別にみると、30代と40代では「まだ充分ではない」「不足している」と回答した人が6割以上となっています。

【全体】支援は充分に行われているか



【年代別】



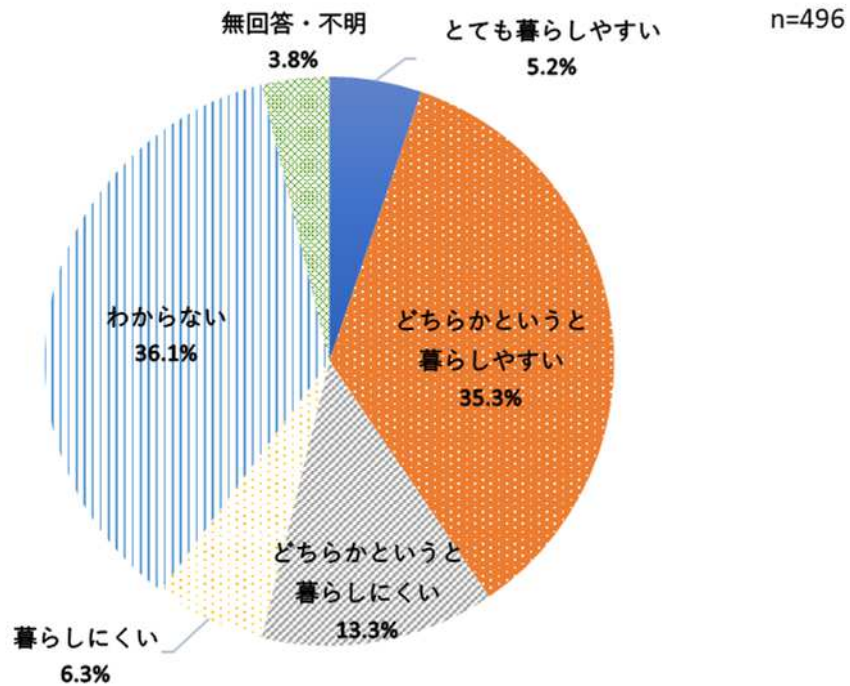
問25 あなたは、富士市は障害者にとって暮らしやすいまちだと思いますか。

(1つだけを○で囲む)

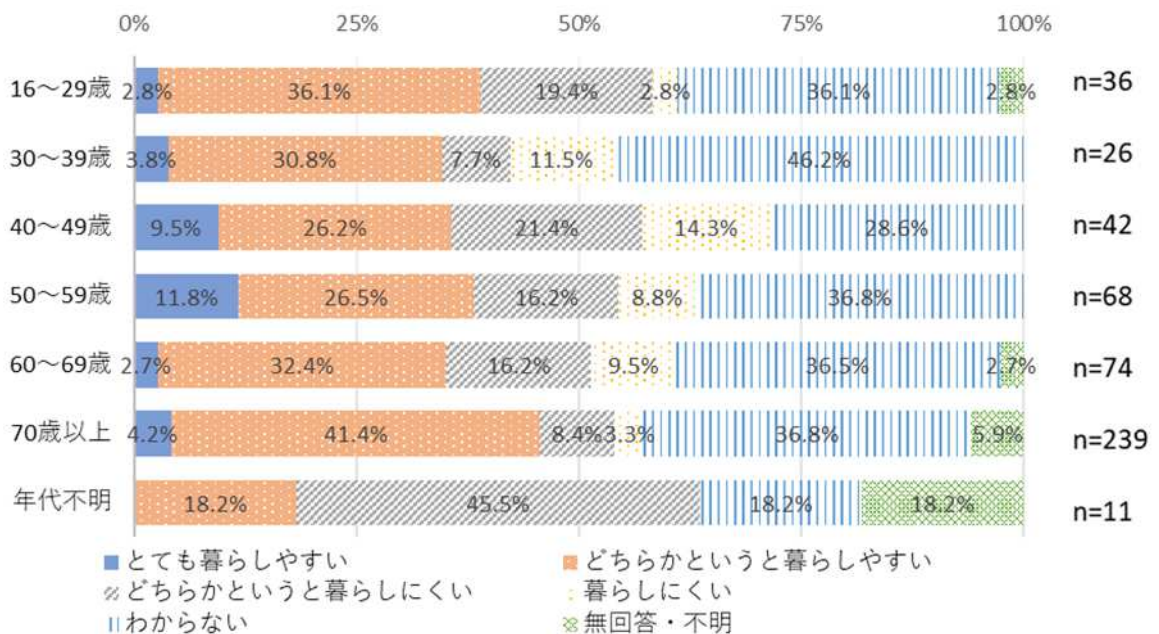
富士市の暮らしやすさについては「わからない」が最も多い

全体では、「とても暮らしやすい」「どちらかという暮らしやすい」を合わせると40.5%、「どちらかという暮らしにくい」「暮らしにくい」を合わせると19.6%となっています。
年代別にみると、40代では3割以上の方が「どちらかという暮らしにくい」「暮らしにくい」と回答しています。

【全体】富士市の暮らしやすさ



【年代別】



問26 今後、富士市でもっと充実してほしいことは何ですか。

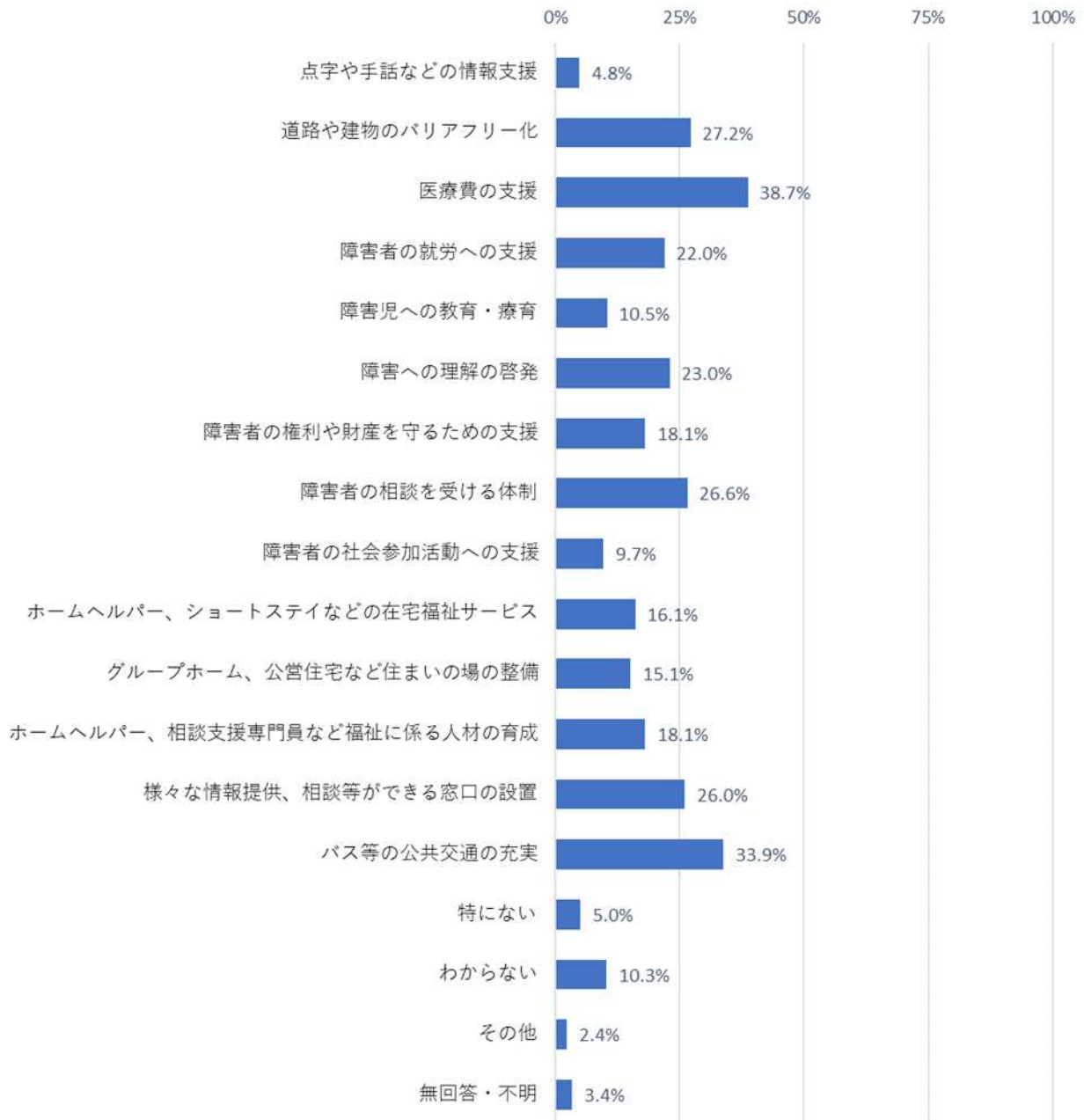
(あてはまるものすべてを○で囲む)

もっと充実してほしいことは「医療費の支援」が最も多い

「富士市でもっと充実してほしいこと」について、「医療費の支援」が38.7%で最も多く、これに「バス等の公共交通の充実」が33.9%が続いています。

【全体】富士市でもっと充実してほしいこと

n=496



【年代別】

年代別にみると、16～29歳では、「障害者の権利や財産を守るための支援」「様々な情報提供、相談等ができる窓口の設置」が最も多くなっています。30代では「就労への支援」が最も多く、「相談を受ける体制」が続いています。40代では「相談を受ける体制」が最も多く、「医療費の支援」が続いています。50代以上では「医療費の支援」「バス等の公共交通の充実」が多くなっています。

(単位：%)

	有効回答数	点字や手話などの情報支援	道路や建物のバリアフリー化	医療費の支援	障害者の就労への支援	障害児への教育・療育	障害への理解の啓発	障害者の権利や財産を守るための支援	障害者の相談を受ける体制	障害者の社会参加活動への支援	イなどの在宅福祉サービス	ホームヘルプの整備	グループホーム、公営住宅など	員など福祉に係る人材の育成	ホームヘルパー、相談支援専門	窓口の設置	様々な情報提供、相談ができる	バス等の公共交通の充実	特にな	わからない	その他	無回答・風名
16～29歳	36件	5.6	22.2	27.8	27.8	16.7	27.8	30.6	19.4	11.1	13.9	22.2	11.1	30.6	27.8	5.6	11.1	2.8	2.8			
30～39歳	26件	7.7	19.2	34.6	69.2	23.1	34.6	23.1	53.8	23.1	0.0	23.1	19.2	30.8	42.3	3.8	0.0	3.8	0.0			
40～49歳	42件	2.4	16.7	45.2	42.9	19.0	40.5	35.7	50.0	14.3	19.0	23.8	23.8	35.7	33.3	2.4	2.4	4.8	2.4			
50～59歳	68件	5.9	26.5	41.2	35.3	14.7	35.3	27.9	22.1	16.2	23.5	25.0	19.1	27.9	38.2	0.0	11.8	5.9	1.5			
60～69歳	74件	2.7	32.4	32.4	21.6	8.1	20.3	20.3	27.0	9.5	13.5	14.9	14.9	25.7	33.8	2.7	14.9	1.4	0.0			
70歳以上	239件	4.6	29.7	40.6	7.5	5.9	14.6	7.9	21.3	4.6	16.7	8.4	18.4	22.6	33.1	7.9	10.9	0.8	5.0			

※年代不明 11 件は含まれていません

問27 その他として、富士市の障害者施策、サービスなどについてご意見、ご要望を自由にお書きください。

※ 原文のまま掲載しています。

■ アンケートについて

- このアンケート内容がよく解らない。動けない障害者には答えられない。代理で回答するにしても問いの内容が私の想いか息子の想いを回答するのか解らない。親へのアンケート内容が有ったら良いのに・・・(問 19, 20 について 息子がどう思っているか感じるのはむずかしい) (代理記入：60～69 歳)
- この様なアンケートを作って頂きありがとうございました。 (50～59 歳)
- アンケートの意向をくみとり下さい。充実する事、期待しています。ありがとう。(70 歳以上)
- 今回のアンケートで、障害者施策やサービスを詳しく知りたいと思いました。いいきっかけになり、良かったと思います。 (40～49 歳)
- この様なアンケートをとるからには障害者(児)の意見をムダにせず、是非生かして欲しい。身体障害は見ればわかるが、発達障害は見てもわからない。健常者には理解出来ず、苦しむ事が沢山あります。支える家族も思っている以上に大変です。 (代筆：16～29 歳)
- アンケートだけで終わることが残念。パブリックコメントと同じ。 (70 歳以上)
- 文章がわかりにくい。 (代筆：30～39 歳)
- アンケートが、むずかしい事。似たような内容が有る。自分は軽度の知的障害者ですが、今、絵を習っていますが、障害者の方々がのびのび絵を習ったり、物作りを習ったり、作った物を販売できるようにしていただくとありがたいです。世間では、「障害者は雇用をうまない」と言われています。だれしものが障害者になりたくてなった訳ではない。両親も障害者に産みたくて産んだ訳ではないので、悲しくなります。だれが障害者になっても不思議では無い事です。このような事がなくなる事を祈っています。大変かもしれませんが、ご協力お願いします。(40～49 歳)
- 娘に替って回答します。娘の知的レベルでは、アンケートに回答出来ません。富士市がどうという事ではありませんが、障害者を持つ家族としては将来がとても不安です。もっとその方面の支援の充実をお願いします。 (代筆：16～29 歳)
- 知識の低い人に対して設問がむずかしすぎませんか？もっと弱い人の立場に立った目線で行なってほしいです。健常者の方々が年老いて、弱くなった時の立場を考えてみて下さい。皆さん年老いて普通の事で出来なくなる時がくるのです。明日は我が身です。(代筆：40～49 歳)

※ 原文のまま掲載しています。

■富士市の障害者施策・サービスについて

- 比較的軽い障害なので大丈夫です。重い障害の方への施策やサービスを重点に願います。
(70 歳以上)
- 他の市より優れていると思っています。(70 歳以上)
- 特にありません。富士市は障害者には多方面で支援が充実している様に感じています。
(70 歳以上)
- 生活する為に必要な配慮と安心がもてるより良い環境作りをお願いします。(70 歳以上)
- いつも支援していただきありがとうございます。今後ともよろしく願います。
(50 歳～59 歳)
- 障害者は手足の不自由な人が中心の様に見えるが、目の不自由な人の為の保険・補助等の支援が充実させてほしい。(70 歳以上)
- 障害者施策は、ほとんどが身体障害者のためのように思います。精神障害者は社会の中で取残されているように思います。地域社会の中で理解が得られず生きにくいです。
(代筆：30～39 歳)
- 障害といっても様々。生活のあり方も様々。それをどの様に知りどのように対応するつもりですか？かたちばかりで対策しているつもりでいるなら、一部の人だけがすくわれるだけ。本気で対応してほしい。(問 9 について 差別っていう表現が理解できない。これが差別です。)(50～59 歳)
- 小学生や中学生になっても体の動かし方が上手にできないが作業療法など受ける事ができなくなってしまったので、改善して欲しいです。これからの人達のためにも。
(代筆：50～59 歳)
- 今のところ支援してもらってないのでわからない。(70 歳以上)
- 障害者手帳はもっているが日常生活に全く不便がないのであまりわかりません。
(70 歳以上)
- 障害者の支援に感謝します。事あるごとに市役所へ手続きに行くのですが、つえがすべるので大変です。(70 歳以上)
- ほじょ犬について 12/2 日テレビで放映され知る事ができた。支援制度介護等知らない事が多い。(70 歳以上)
- 特になし、というより期待していない。(40～49 歳)
- 富士市に限ったことではなく国の政策として介護ヘルパーの利用は改善が進んでいる。例えば以前は病院の帰りに買物をして帰れたが今はできない。リハビリ日数にも、治ってなくてもリミットがある。国でできないことを、市がやる気持があるのか。国でできないと決まっているからできません、で終わりではないか。財政難・高齢化など、より厳しくなっていくように思う。希望が持てない。(60～69 歳)
- 障害児者は、中央病院で紹介状がなくても診察が受けられると良い。(代理：60～69 歳)
- 年令と共に心配は多くなります。1 人でいる時災害があったらいつも考えます。食事の事はあまり気にしませんがトイレは心配です。(70 歳以上)

※ 原文のまま掲載しています。

■経済的支援について

- 病院にかかるのにお金がかかるので、行きづらい。 (16～29 歳)
- 私は、障害者 4 級者です。現在、日常生活用具の給付を受けております。物価高の折、大変、助かっております。長くこの支援が続きます様に。 (70 歳以上)
- 障害年金の拡充。 (60～69 歳)
- 生活にこまっている。とてもこまっている。生活保護以外もっとほかの支援はないのか。このアンケートをやる意図は何ですか？要望など聞いたら実現してほしいです。手当などふやしてほしいです。発達障害はとても大変です。 (代筆：40～49 歳)
- 国民健康保険の高額療養費支給ありがたい。 (70 歳以上)
- 支援は行われていますが医療費を 2 割から 1 割にしてほしいです。 (70 歳以上)
- 障害年金を増やして欲しい、生活費がたりない、医療費がたりないので困っている。(60～69 歳)
- やはり現金支給が一番。 (40～49 歳)
- 介護保険料は免除してください。 (70 歳以上)
- 障害者年金等の削減など考え直して頂きたい。物価高騰などで生活が苦しい“今の時代”医療費、食費、家賃など他にも様々ですが色々なサービスや支援などして頂きたい。健康保険や車の税金など。 (16～29 歳)
- 精神の自立支援の継続のお知らせがこないのやあって欲しい。 (年代不明)
- 精神的な病気で通院していますが、「自立支援医療制度」を数年前に知りました。今は使わせていただいております、大変助かっています。病院でも教えてくれなかったので、きっと知らずに通院されている方がまだいると思います。(私は SNS で知りました) 障害者手帳についてもありがたい制度だと思っています。しかし、本当に具合の悪い時期には使えるものが無いと感じます。外出先で少し金額の補助があるものばかりで、私は 3 年ほど病気で外出できなかったの、何にも使えませんでした。それから、具合の悪い時、市役所に行って手帳や自立支援の申請をするのは不可能なんですよね。「外出できない！助けて！」と相談できる場所を知りたかったです。 (30 歳～39 歳)
- 現在富士市のライフサポート事業を使わなくてはならない。家庭の経済事情でフルタイムで働いている。生活介護+ライフサポートである為、利用料の負担が大きい。富士宮市ではそうではないと聞いています。ライフサポートの利用者 1/3 負担は大きすぎる(一人親家庭であるし)。富士宮市のようにしてほしい。 (代理：16～29 歳)
- 担当外と思いますが……。介護保険は必要とする方々に使っていただきたいと思います。私たちは合算すると 167 (85・82) の夫婦です。身の回りのことは自分でする『自己介護の実践』を心掛けて生きています。この考えを普及したいですね。 (70 歳以上)
- 障害者の移送支援サービスが 65 歳になり介護保険優先になったことでいきなりなくなった。経済的に厳しく、福祉タクシーの割引券だけではまかなえず通院できなくなった。65 歳になっても引き続き利用させてほしかった。社会から見離されたような感覚になった。 (代理：40～49 歳)

※ 原文のまま掲載しています。

■相談体制・窓口対応・手続き・情報提供について

- 申請ものが大変 (40～49 歳)
- 障害に関し、市役所や社会福祉協議会など窓口がいろいろでわかりにくい。また更新手続きなど記載方法など説明がなく、不親切である。(代理：50～59 歳)
- 障害者が相談できる窓口をもっと増やしてほしい。(代理：60～69 歳)
- 障害者サービスについて詳細が知りたい。障害者が高齢化した場合の具体的なより処相談等知りたい。(50～59 歳)
- 福祉サービスの情報が入りづらいため、情報が入る方法を考えてほしい。将来のことは不安だが、どこに相談して、どのようにしていけばいいのかわかっていない。(16～29 歳)
- どこに相談に行けば良いか、などわからないのもっとわかりやすく周知してほしいです。(代理：40～49 歳)
- 自分が障害者になるまで思ってもみなかったことで困ることがたくさんあることが分かりました。市役所で教えていただいて助かったことも多々あります。ありがとうございます。(50～59 歳)
- 障害者だけではなく、その家族や関わっている人のための相談窓口を充実させてほしい。土日でも電話相談できるようにする、20 時頃まで平日対応するなど。(16～29 歳)
- 困っている内容により、どこに相談したらよいか。どのようにはたらきかけたらサービスが受けられるかを積極的に市の方から伝えて欲しい。(60～69 歳)
- 障害手帳を持っていることで受けられるサービスの一覧を確認できる見やすいサイトページや本などがあつたら良いと思います。スマホなどで見られるページもありますが、わかりにくいです。(問 9 について 差別という言い方が当てはまっていないと思う)(16～29 歳)
- 障害者手帳でなく、カードもしくはスマホ登録にしてもらいたい、早く。障害福祉サービスの登録や更新手続きをインターネットでできるように、早くしてほしい。(70 歳以上)
- WEB をもっとわかりやすく多くしてほしい。(代筆：40～49 歳)
- 自宅が空家になった時が心配です。相談窓口がありません。(60～69 歳)
- 障害者個々人の状況をほぼリアルタイムに把握したうえで対応してほしい。←個々人からの申請に頼るのではなく、行政が主体となって把握を進める。(代理：70 歳以上)
- 院外薬局などにそのような障害者サービスなどの窓口があり、週に何日か気軽に相談できる方が来て下さるとうれしいです。病院の帰りに行かれるとうれしいです。孤独にさせないで下さい。がんばって下さい。笑顔でいられるようあなた達もネ。皆さんよろしくお願ひします。(60～69 歳)
- 私は在宅酸素で、外出時は携帯酸素を使用しています。一度だけ見学施設に行った時、携帯ボンベでは、たりません、移動困難無理です。自由に移動出来ると良いですが？(70 歳以上)

※ 原文のまま掲載しています。

■相談体制・窓口対応・手続き・情報提供について

- 苦情を言いたくてもそのための窓口がない。障害者への情報発信だけでなく、障害者から幅広く情報収集するシステムがない。(60～69 歳)
- 授産所等などの案内、冊子等まちづくりセンターの窓口へ置いてはどうか。
(代筆：40～49 歳)
- 全ての相談を一箇所で話せて、担当も変わらない相談窓口が欲しい。(30～39 歳)
- 様々な、障害をかかえた方がいる中で、私の場合、ペースメーカーの為、自身がしっかりしていればほとんど生活に支障ございません。健常者は、他者をあまり意識しませんので、その点、どんどん情報活動や公共サービスを行っていくことは必要ではないかと思えます。障害のある方の意見を必要以上とりいれても、ことたりないかと思えます。公共サービスは、「そんなことしてくれるのだ」と発見することも多いため、障害者イベントとしてではなく、色々な客層の多いイベントにも情報発信が必要と思えます。(30～39 歳)

■差別解消・理解啓発・共生社会について

- もっと障害者理解のある町づくりをしてほしい。(70 歳以上)
- みんなが、もっと障害者によりやさしさを持ってくれるよう働きかけてほしい。
まだまだ偏見の目で見える人ばかりです。(代筆：30～39 歳)
- 障害者に対する差別をなくしてほしい(職場内いじめ、偏見等)(50～59 歳)
- 発達障害への理解を今以上に啓発してほしいと思えます。見た目ではわからない部分や一人一人違う所をより理解してほしいです。(30～39 歳)
- 本人は身体・知的障害、両方ある。自分で考えることも、行動することもできない。このような障害者のことも考えていただくとありがたい。母記す。(代理：70 歳以上)
- 個人で思っていますが富士市は行政も各個人も“市民”“障害者”に対しての理解・啓発が低いと思えます。(40～49 歳)
- 駅とか公共場所などにすぐわかるマークをつけた人がいたら声をかけやすいのではないかと思います。(70 歳以上)
- マークや障害者のことを学ぶ機会がなく学ぶためには、自分でセミナーやシンポジウムとかに参加しなければ学ぶことが出来ないから皆、知らないまま。学校の授業の一環として障害者のことやマークのことを学んだほうがいいと思えます。中学生や高校生からとくに学んだほうがいいと思う。(30～39 歳)
- 小学生くらいから、障害児・者との交流する機会を増やして、健常・障害の区別なく、共生できる様な世界になっていくと良いと思えます。日頃より、様々なサービスや支援を提供していただきありがとうございます!!(問 7-1 について 認知・関心は増えてきているが、まだ改善は難しいと思う。問 10 について 人それぞれ意識の違いもあり難しい問題です。)(代理：年代不明)

※ 原文のまま掲載しています。

■公共交通について

- 交通（バス）本数が少ない。停留所まで遠い。（70歳以上）
- 特に遅れていると感じるのは、公共交通機関を利用時の配慮や道路整備は便利とはいえず、不安がある。アンケート調査が障害福祉支援に役立つことを期待する。（60～69歳）
- 私は障害の程度が低いので富士市に住んで困ることはほとんどありませんが、これから先高齢者の人口が増え、さまざまな問題がおきてくると思われます。交通手段の充実 etc.車の免許返納後の生活の支援など充実を望みます。（70歳以上）
- 気軽に利用できるバス等の手段がない。高齢なのであきらめている。（70歳以上）
- 教育プラザに行くことが多いが、吉原中央駅からのアクセスが不便なので「ぐるっとふじ」などが教育プラザにのりいれてくれると助かる。（16～29歳）
- バス停が近くになく、1時間か2時間に1本位しかこない為、利用できない。（60～69歳）
- 通院交通バスの本数が少ないので大変ですので本数を増してもらいたい。各病院で送迎バスを出していただければ有りがたいです。（70歳以上）
- せめて市役所へはもっと便利にアクセスできる交通手段があればと思います。
（代筆：70歳以上）
- 交通手段がない為、タクシーの割引。（病院通院の為）（70歳以上）
- 免許証返納による交通支援（代筆：70歳以上）
- あるバスに乗車した時、障害手帳の中を見せろと言われました。（富士市のバス）富士市のタクシーに乗ったら前にタクシー券で出したらこんなもの差し出しても割が合わないなどと言われました。足腰が悪い為にタクシーに乗ったら近場は割が合わないと言っていました。（70歳以上）
- 富士市は工業都市みたいでバスの時間がとても少ない。静岡鉄道は平日は夜11まであります。〇〇〇は1H/2本あれば！夜は1H/1本。時々静岡へコンサートに行きますが帰りのバスがなくて（特に土日の夜の時間帯（6～8～9）吉原でのり替え〇〇とタクシーで帰ります（約1000円）本数減らしたら黄色のバスが増えたりコースが増えたりしないと！〇〇〇にも伝えて下さい。（50～59歳）

※ 原文のまま掲載しています。

■バリアフリー・駐車場利用について

- 道路のバリアフリーを望みます。 (50～59 歳)
- 歩道上の標識は歩いていてぶつかりやすい。撤去してほしい。目の不自由者より (70 歳以上)
- 介助用トイレの整備、バリアフリー化。 (代筆：70 歳以上)
- 私は足が不自由なため車いすに乗っています。外へ出ると車道と歩道の段差でつまづきころんだことがあります。歩道を広く、段差をなくしフラットにしてほしいです。(高齢者、ベビーカー、子供、障害のある人にやさしく) (60～69 歳)
- 問 26 のバリアフリー化をもっとすすめてほしいです。車イスでの移動がまだまだ大変です。他の人を見てもシニアカーの走行がかなり大変そうです。 (代理：50～59 歳)
- イオンの駐車場（リモコンで開くタイプ）みたいな駐車スペース増やしてほしいです。障害者じゃない人が使ってることが多いので。中央病院の駐車スペースも狭すぎるので、車椅子の人でも大丈夫な広さが欲しいです。中央公園の砂利道、車イスだと凄い大変なので舗装してほしいくらいです。 (40～49 歳)
- 駐車場の障害者用スペースの表示の仕方に問題を感じます。まだ、いまだに車いすマークばかりのところもあります。車いすを利用しない身体的に（特に足腰）障害者も多くいますが、そのマークの場所に停めた人が、健常者から怒られている場面を見たことがあります（私も）。市の所有する施設に限らず富士市内の駐車場が人の目を気にせず利用できるようにと願っています。全てにご指導をお願いします。（周知・徹底）新富士駅内には、手すりが整備されていない部分が多くあります。 (代筆：70 歳以上)
- 障害者マークの所に元気な人がとめている。 (40～49 歳)
- 街灯を増やしてほしい。駅前でも暗くて歩きにくい。 (16～29 歳)
- トイレの洋式化。 (50～59 歳)

■合理的配慮の提供について

- 胃がん検診で胃部エックス線検査の際、補聴器をはずすと技師の指示内容を聞き取ることが出来ません。文字で表示していただければ受診できるのですが…。 (70 歳以上)
- 父は意識障害で入院中（脳梗塞のため）それ迄は通ってた施設やケースワーカーさんなど大変よくしていただき助かりました。中央病院の車イス利用においては入り口の係員さんが車乗り降りにもっと手をかしてくれたらなあと感じました。 (代理：60～69 歳)
- 人の話し言葉が分からない。手話もわからない。気軽に書いて教えて頂くとありがたい。仲間の人達に支えて頂き、共に生きれる安心、おかげさまで感謝です。生きる楽しみ、幸せです。お世話になります。よろしく。 (70 歳以上)

※ 原文のまま掲載しています。

■障害者施設について

- 障害が重い人のための生活介護施設、ショートステイ、行動援護、グループホームなど利用できるものが少ない。障害児への放課後デイサービスばかり増えて成人が利用できるものがない。 （代理：16～29 歳）
- 障害者の人が住む住宅、福祉事業所を増やしてほしい。障害者と一緒に住める住宅があると助かります。 （代理：16～29 歳）
- 障害者と一言でいっても人それぞれ様々な状態です。関わる人、介助してくれる人々のスキルアップとその方々にモチベーションが上がるような環境があるといいなと思います。障害者の親は子供の将来についてとても不安です。安心して預けられるショートステイやグループホームがたくさんあって充実しているといいと思います。お年寄りの施設はたくさんあるのに障害者の施設は少なくて職員さんの手も少なく手薄になるし負担も大きくなり、利用者さんにしわよせがいくと思います。そういったところを手厚くしてほしいなと思います。 （代理：50～59 歳）
- 施設にいるとき移動や買い物にいる時に忙しいと言われるので、自分の行ける時に行けるための移動手段が有れば良い。そこにいとそこにしかいけないので不安になる。 （代筆：50～59 歳）

■就労について

- 福祉はお金がかかる。公的にどこまで見るか限りがある。企業は障害者雇用が大いに進めるよう政策を。企業には政策を反映するようにし障害者が所得を得る様にする。 （70 歳以上）
- 障害にかかわる仕事が少ない。働きたくても利用人数制限があるのでむずかしい。 （50～59 歳）
- 働く事によって家から出て過ごし家族に迷惑をかけたくない。財産をもちたい。あそぶきかいを月に1度でももちたい。温泉とか行ってりょこうしたい。家族に迷惑をかけないで。 （40～49 歳）
- 就労支援の詳しい説明書があれば良いと思います。 （代筆：40～49 歳）
- （問 16-2 現在の仕事で困っていることとして）体調が悪くて遅刻・早退が多いと「休みすぎだ！」と言われる。正社員の為、金銭的に補助とくに3級はないので、子供を育てていると、大変。 （40～49 歳）
- （問 16-2 へのコメント）勤務先の理解を得られている。大変努力をしてくれている。 （代理：50～59 歳）
- 自分にあった環境があれば、通いやすくなると思いますが、中々難しいと思っています。 （40～49 歳）
- 仕事ができるように支えんをしてもらいたい。生活費がたりないので支えんをふやしてもらおう。 （代筆：40～49 歳）

※ 原文のまま掲載しています。

■社会参加活動について

- 障害者が参加できるスポーツクラブなど他の市にくらべて富士市は少ないように思える。
（代筆：16～29 歳）
- 障害者の生涯学習の充実。（特支学校卒業後の学びや交流など） （代理：年代不明）
- 施設が何箇所も有り東部プラザも行きました。お風呂が良くあとは囲碁を楽しみます。
車に乗れなくなった今はバス停が遠いので出掛ける事がなくなりました。中央図書館は素晴らしい。子供が休みにつれて行ってくれます。 （70 歳以上）
- 施策、サービス等何かの団体に入っていないと、と思う。知人などに入っている人がいない。

■親亡き後について

- 親が亡くなったあとの自立と見守りがスムーズにいき、きちんと生活できる道がととのえられると年をとっても苦にする事が少なくなり少しでも社会に役にたつ子にと思いがんばれます。障害のある事はだれにも責任はないのですから。勝手なこと並べました。いい理解のある社会、やさしい社会、すばらしい富士市になる事そうなってほしいと思っております。 （代筆：70 歳以上）
- 最重度障害を持つ者の将来の生活支援のあり方（親亡き後、兄弟や親類に負担をかけないためにどうすればよいか）。 （代理：16～29 歳）
- 家族としては感謝しております。（現在はですが）これから先、私が歳をとって来た時が心配です。障害者本人ではなく、家族の意見ですが。（感謝していますが家族の負担が大きいですね） （代筆：50～59 歳）
- 充分お世話になり感謝しています。親の存命中は心配ないのですが後家族がないので心配です。本人は感じていないですが。母 （代理：50～59 歳）
- 親が亡くなった後在宅で生活の支援をして頂くと有難いです。グループホーム・施設への入所を極端に嫌がります。 （代理：70 歳以上）
- 極論を言うと、親亡き後、安心して障害のある子供を残していける世の中→行政であってほしい。後見人制度等にとっても不安を感じている。現状では頼れる機関は「チャレンジ」のみという感覚である。☆支援学校高等部卒業後～継続して同じ企業で就労している自閉症（発達障害者）です。本人に「障害者」という自覚がほとんど無いので家族が記入しました。そもそも知的面が健常の人でないとアンケートに答えることは無理だと思います。（代理：50～59 歳）